

H6 Epitome

DS Horiuchi, Shin 871 Nanki Takugawa shi

East Asiatic Studies

> PLEASE DO NOT REMOVE CARDS OR SLIPS FROM THIS POCKET

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY



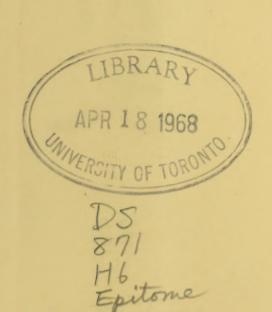


南 紀 德

總

目

録



刊行につ

時代研 輓 て史學に權威 近或は學術的に或は趣味的に史學を研究するこご頗る旺盛ごなり世を擧げ 究の一大寶典たる南紀徳川史を公にする事を得たのは吾人の私に誇ご あ ある圖 書の刊行 せられん事を渴望してゐる。 此時に當 つて徳川

する所

て

記を初 本書 還 抑 事 過ぎな 0 は 紀 歷 を編録 潘 あ 至 は南龍公即ち大納言徳川賴宣卿の紀 か めごして各部各局に尨大詳細なる記録が雑然ごして保管せられ るが統一完備 0 る迄二百 記錄 つた。 せしめられし こし 七十餘年 ては二世光貞卿 せるもの もの 間 の紀藩に於け ごては をはじめごしそ (清溪公)の時儒 なし、 る記 州就封以來第十四代茂承卿 唯 表 0) 錄 後 御 を網羅蒐輯 右筆方日記 臣李梅溪に命じて南 も斷片的 に編 したる秘書である。 . 奥 述 御 せ 5 の藩籍奉 右 居 龍 筆 n るに 公の

十四代茂承卿深くこゝに慮らるゝ所ありかくては南龍公以來紀勢五十万封の

資 完成し南紀徳川史ご名付けて之を舊主君に捧呈した。 畢 8 明 一生の 尚其 に充て言語に絕したる不便ご困苦ごに耐へ十一年の歲月を費して遂に之を 賢臣 事業 事業の貴重なるに鑑み之を廢絕するに忍 0) 譜 記 こして 傳は 錄 0 2 整理編纂を行 勿論藩政治績 0 編 輯に專念 は の湮滅に歸せん事 こ した、 め 3 中 n 途故 た、信謹 あ びず爾 を憂へ つて徳川家を去 みて 來 其侍臣 私財を擲 命 を奉じ 堀 ちて 心血 內信 るに を濺 編纂の 至りし 信初四郎吉 ぎ

城 技・俊傑・烈女・孝子・高僧の各傳を載せ職・禄・郡・財・軍・法・典禮・服・社寺の各制度及 その書たるや全部百七十二卷、歴代藩主の譜略言行を始めこし 藩 郭邸園誌を述べ幕府日 に 關 係 あ る史實文献 は悉く之を網羅 々の沙汰書に至る迄細 して る る。 大記述し盡し凡そ分毫にても 名臣·武術·方

云々さ 以 其文 述べて居るに徴しても其史學的價値の卓絶せるは首肯し得られるであ 2 0 卷頭 8 力 めて舊 に於て堀 文を取 內 翁自 4) 敢 ら、本史の て取捨掛 目的 一酌 を加 は華 ず斷簡零墨も を捨て實を傳 網羅 3 るに在 嵬輯 す

5 n 3 5 0 > n 所 ず隨 籫 な 典 うて 6 くして徳川家 堀 そ 内 翁晚 0) 眞 年の 價 0 を 秘庫 不 認 遇に災 め に深 5 3 く藏 せ > 5 D せら れ H その當時に在りては 8 n な 7 < 翁終 る 生の た 大努 >" 此事 力 顧 を知 8 も與 何 3 等 酬 へら は

る

家谷井濟 深く之を遺憾ごして 加 發し適郷 先年東京 萬 難 を 是に 排 帝國大學史料編纂所 土史研究熱 先生の して發刊 於て 予は 御 に着 接 の勃興ご相俟 些かにても學界に貢献 助により本 手したの が數千金を投じてそ であ 會を創設するこご、なり諸有志の後援 つて本書の公刊を渇望するもの日 30 する所あらんご 0) 寫 本一 部 を作 の信念より篤志 れ るに に 多 端 きを を

顧 7. 忍苦 ごする 3 ご努力 指 苦 を 染 心 3 もごよ め て以 0 精 來六星霜難 進 9 を續 方ならず之 け遂に此 讀 の原 大 に 事業完成 加 本 を片言雙句 2 3 に 常 0 喜 に 經濟的 に も改訂 達し 勞苦 た する 0 事 7 3 鬪 な く印 3 U 0 行 > せ

是 が冥助 れ偏 に 諸 を垂れ給へる所ご信じて疑はぬのである、 有 志 0 絕大 な る後援 0 然 らん む るごころ 幸にして世の識 な 3 は 勿論 な カジ 者 5 本書の 亦 堀 内

眞 7. 價 あ の一慶事たるに止まらず亦些か以て翁の英靈を慰むるに足らんご信ずるの る。 を認 め 5 るゝに至らばたゝに 吾人の喜これに過ぎざるのみにあらず又學

添 2 へたもので吾人の誠に光榮こする所である。 かも國史學の泰斗三上參次博士の題簽を辱うするを得たのは錦上更に花を

終りに文學博士三上多次先生文學博士黑板勝美先生が本書の鑑修に校合 甚 所主芳 村吉甫 福 大の 懇切なる指導を賜り千金の分陰 を祈 賜 太郎 るの 氏文學上藤木邦彦氏島 B であ 0 翁 であ が採算を超越して便宜 30 つた事を特筆して感謝の微意を表し併せて深く堀内翁の 中伊忠 を割愛されて を與 氏 の校合 へられたる厚き志こは 校正に對する努力ご福 御盡 力下さつた事ご文學士 本書 本 の完成 EII 校正 刷 所 石

昭和八年十一月

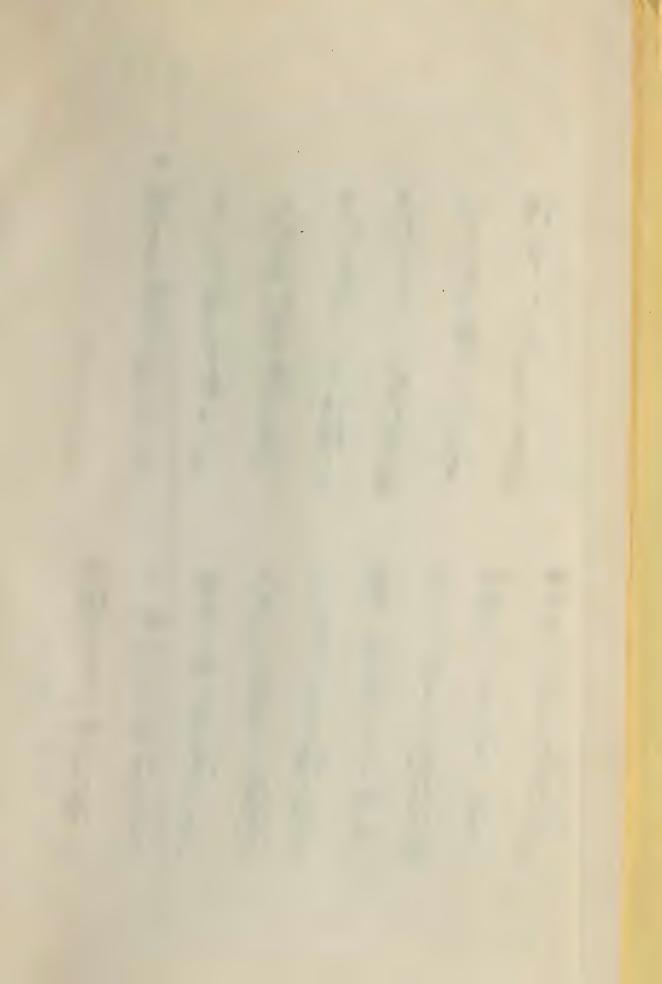
南紀德川史刊行會

崎順平謹白

Ш

するなななるとろ

大编五有之如我山海,我



南紀德川史總目錄

御幼時之事數件	水野對馬守重央為傅	駿府御居住	御入朝加冠從四位下常陸介	東照公御致職	增封五万石	水戶賜封	御生誕	南龍公第一 自慶長七年至元和五年	卷之一	世	第一册自卷之一至卷之十	引用書目	例	稽	
												lil - ii	iii	卷外	
0	0	八		六	五	=======================================						11.	Ti.		

•

兩將軍臨即 寬永三年同五年同七年	周參見浦にて鯨三百を齎す	暹羅使人拜謁 寛永六年にもあり	京師へ會朝 寛永三年同十一里通殺生州許	-40	和歌東照宮の祭典を定む	和歌山城闢修 将軍銀二千貫を賜ふ	暹羅國信使江戸に來る	和歌御宮造營 勅使下向	南龍公第二 自元和六年至宽水十七年	卷之二.	大崎長行等三人を召す	人國數條	紀州を賜ふ	福島浪人を辟さんとす	誓文を日光山に獻す	助を竹橋に賜ふ 六年第宅成る	
•			个		仝		仝	个							仝	4	
•	•	•	九年		八年	:	七年	六年			•	•		•	五年	P	
	•			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	0 0 0 0 0 0 0 0							0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0	
七八	· -{	: +	七六	七五	· 七	七四	-t	七三			+	ナセ	; ; ; t	六六	六五	2	Y

ル 九 九 九 九 九 九 八 八 八 八 八 八 八 八 九 九 九 九 九	 前将軍の病急を間東覲 已癒之報めるを以	天皇御受禪	武家法度改定	熊野御入浴 六年	江戸城普請 寛永十三年八月にもあり	小杉御鷹場を賜ふ 五年…	東南塞國人書や呈す 阿蘭安南呈書之事	日前國懸兩宮を修す 回 四年	御上洛 駿河公水戸公さ行列順の事・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	從二位大納言	伏見の邸を賜ふ	有馬御入浴 寛永四年夏にも	薩摩宰相妻子を江戸に移す	材木を獻す 寛永五年二條城修築献材 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	伊須波國使來る	日光御社参 寛永五年同九年等數回御社參あり
七九四二一一 八九七六一一 () () 九	 1. IL	14	九二			九	八九	八九	八七	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·····································	<u></u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		八〇	

御不例	將軍三親藩へ台命	御下屋敷を賜る	公親ら嶋原を征せんを請ふ	嶋原賊起	韓使來聘	百姓への法度 檢見発合之事	武家諸法度を頒つ	安藤直次卒 寬永十三年直治卒	西城失火 同十六年本城燒失	公事裁判の法制を合す 徳川氏一代の	簾中江戶へ移らせらる	蘭人加比丹參府	長崎の條合を發す 蓋し鎖國の初め	大智寺を建つ	赤阪邸を賜ふ	加藤肥後守忠廣を罰し肥後國を沒收す
	. 同十六年		. 同十五年	同十四年	. 同十三年			:同十二年	同十一年				· 同 十年 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
三八	一三六	一三六	一六	1 1 1 1		一0八	一〇六		0=1	100	100	000	九九	儿儿	九九	11.

御家士數十人及與力等を解放す	嫁娶の節獻品の制を定む	訴訟目安の法を定む	諸士の祖先武功書を上らしむ 同 サー年	怔忡を病む 二十年	御譜代大名交替の制を定	野島御入湯 二十年にも	日光御社參 正保五年慶安二年光貞公同斷	表衷文を神廟に獻せらる	幕府那波道圓に武家系圖編纂を命す 同十九年	幕府主殺しの刑法を定む	蘭人登城	御條目被仰出	南龍公第二 自寬永十八年至万治三年	卷之三	御家中死去跡俸給の事及浪人召抱の事を合す	耶蘇邪徒を誅し阿瑪港に諭す 三人を斬首す	
: 	: 	: /i.	i.	: 	: 	: 	: h.	: /_)	ii.	: 	; pq /L	: /\ /\			[/1]	ind	

	匠鬼香にわ	牧野兵庫頭を配す		1	変ういとに	徒黨の事を合す	和歌浦嚴島御寶塔 芦邊菜屋由緒	久野山伊勢御社參 ····································	大島にて捕へたる邪徒の口数	选球使引见	č	pı		有馬御入浴 ····································	幕府諸侯に命し國繪圖を作らしむ 同三年			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
一 一 一 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二			- +		一七			:	- 7				- 70		i H	: - -	: : :	i.	一五七

幕府の法令布告 一季居泰公人の事 п 四年	御添屋敷御拜領	御船藏川口番所定書	御上屋敷替地御拜領 麴町邸造營の件等	江戶大火 御燈城其他數條	和歌山城出火 久野宗後消防等數條	朝鮮禮騁	養珠寺を建	天皇御崩御 新帝御踐祚	松平左兵衞督へ御縁組 吉井家の事 三年 三年	養珠大夫人逝	禁裹炎上	田屋敷御拜領	御印章を改む	將軍宣下	由井正雪反逆の件に付御辨解 敷條	將軍薨去	
二人儿	二〇九	= O+	二〇七		一九八	一九七	一九七	一九六	九五	九四	九四	九四	力力	九三	八八八	八〇	

□光御社窓	靈元帝御受禪	市中橋辻の制札	幕府の法令を布告す 切支丹の制 南龍公第四 自万治四年至寬文十一年	卷之四 吉見臺右衞門大矢數惣一	幕府の法令を布告す m造s事 御家中嫁娶道具の制を定む	爰や本妻に直す事の数 介	尾張建中寺御察詣 玄猪の事等佐竹の家老戸村重大夫や引見す
		三元			二二九	二二八二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	

軍令改定	伊勢御參宮	西條賴純公へ多く名器を賜ふ	陽山別舘を營す	御退隱 數條 二	在中仕置の論達 二 七年 二		會所定書	御簾中御逝去	出家致す者は可屆出	王津島社の祭典を定む	幕府諸家の證人を放還す	男女奉公人の事を介す	雄湊浦にて鯨御突留 コ	新婚者へ沃水を禁す	法令十五ヶ條を發布す	幕府武家諸法度を今す 二	
二四九	四八八	一八八	四七	二四四		四四	= p4		三三九	三三九	三三九		二三七	二三七			

__

主	於	於	於	於	於	芳	大之助	清	源之助	於	大七郎	賴	松	久		修
	2	2	1		與	心	助		助	留	郎	路	之	松	姫	理
稅	1	n	チ	梅	為	院	和批	姬	賴	天	君	君	助	君	君	君
							賴雄者 記事數條	井上河内守室 記事あり	賴康君				渡邊主水黏綢			
三スス	ニノイ	ミスセ	三パナ	三八五	三八四	三八四	三七九	三七七	三七六	三七六	三七五	三七三	三七二	三六五	三六五	三六五,

集				•									
卷之七	養錄												
世子中御事歷	珠士	於	於	久松	於	幸	萬士	平	於	於	於	義	政
御息	珠大夫人	嘉	千	賴	L		萬吉賴渡		加	İ		大夫	之
事成	人	代	衞	久松賴邑君	H	姬	渡君	次	な	茂	初	大夫賴致君	助
御事歷								三堀五郎右衞門				3者 宗直公	
		:		:	:	0	:	:	:	•			:
三七	三九六	三九斤	三九四	三九三	三九三	三九二	三九〇	三九〇	三八九	三八九	三八九	三八八	三八八

	邑二百五十石を報恩寺に附す	賴純公西條三万石を賜る 同十年	正 三 位	權中納言	幕府より十万兩御拜借	法介二十七ヶ條を發布	和歌山大旱	御中屋敷類燒 八年	以治教諭	勢州一圓御鷹場の奉書	御初入	御家督	伏見安宮御縁組	從三位	權中將參議	從四位下常陸介	從五位上	
Ĺ	[TJ]	pq	pq		pų pų			PH PH	pq	prol prol prol	py		-	四三人		四七三	四三七	
	六	六	Ŧi.	Ъ.	Ii.	1.2		-	_		()	0	/ [_	-6	

幕府初て生類憐の令を發す	和佐大八射を京都に演す	阿媽港より日本人を送來る	幕府初て服忌令を頒つ	御中屋敷御普請	孝子を賞す 此他數人あり	朝鮮使來聘	御中屋敷類燒 ····································	赤坂王窓寺替地御拜領	鶴姫君を世子へ御縁組 貞享二年御入輿	將軍家綱公薨す	 	小山守右衞門根來万右衞門に切腹を命す	琉球船賊船の爲めに擴掠せらる英吉利船通商を乞ふ	邑五百石を長保寺に附す	琉球使朝覲	龍祖御逝去
												延賢二年				
四五六	py Ji. Ji.	西班	四五三	四五三	四五三	西五三	阿丘二	五二	py L =	II.	Fi.	四四八八	四八八	四四七	四四七	四四四六六

御薙髪對山と號せらる	營中杖御免	御隱居	青山新邸上棟	賴職賴方二公子各三万石御拜領	御成御殿營繕 御成	青山邸御拜領	江戶大火	御中屋敷類燒金貳万兩御拜領	御鷹場差上	光圀卿楠公の碑を建	高野山騒動	柴田宮本刀傷	封內蝗	添助拜領	從二位大納言	東山天皇御受禪
同十	同十		同十		: 同		•	: 同	:	•		•	•	i 同	元禄	
五年	四年		年	•	十 年		•	八年…	六年:	•	五年:	•		年	年	0 0 0
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	•		•							•	•	•				0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
•			•		:	:		•	0	:	:	•	•	•	•	•
四七二	四七〇	四六七	四六六	四六五	四六五	四六四	四六四	四六四	四六二	四六二	四六一	四六〇	四五九	四五九	四五八	四五六

菅姫	賴方公	· 賴職公	育奶	次郎吉君	綱教公	添る歴	光	ないが	公子譜畧	公子一覽表	御簾中譜畧	御畫事	怪俄除神符	御言行數件	御逝去	高林公御逝去
如	公 有德公	公 深覺公	姬	君	公 高林公	煙	姬	姬		表	客	岡本茶平の事	符之事	件		逝去
			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0		•		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
四九〇	四九〇	九〇	四九〇	四九〇	四九〇	四九〇	四九〇	四八九	四八九九	四八八八	1	四八五	四八〇	四七八	四七元	四七五

公儀御養君 五		江戶大地震大火 五	江戸御中屋敷類燒金二万兩御拜領 五	明き地御拜領 五	將軍御成	阿蘭交易四五船を限り許さる		74	歷朝山陵修營成功	御初入	御音信省略 十六年にも 四、	御家督		世子中御事歷	高林公 自贸交五年3号分二年
C PL	()	() ==	0	()	九九	九九	九	,九	九八八	九八	九八八	九	九九	th	

御幼年御言行	御實母 暑傳	有德公第一 自貞享元年至正德六年	御逝去	三万石御返上	清溪公御逝去	御看病御歸國	御相續	御屋敷御拜領	新地三万石御拜領	從四位下權少將	從五位下內藏頭	公子中御事歷	深覺公 自延寶八年至寶永二年	卷之八	御簾中譜略	御逝去	
Li 六	Ti.		<u> </u>	五二	五 一 一	<u>T</u>	<u>IL</u>	<u>n</u>	Ji.	Ti.	记	近〇七			Ti.	Ti.	

小田堰增開	將軍綱吉公薨 六年	上地御拜領	權中納言	富士山焚寶永山現出	日高郡南部海嘯	伊都郡小田堰を新鑿	參 議	御緣組	而條廢世子賴雄公	内藤八右衞門渥美源丘郎三井孫助を罰す 同 三年	御相續 從三位中將	御屋敷御拜領 蟹水二年所替同十六年同十六年	傳甫 邸御住居 御言行同十五年	越前三万石御拜領一十 年	從四位下少將	從五位下 主税頭
元 三 一	: <u> </u>	: = 0	<u> </u>	 	: 五二九	… 五三九	五二九	:五二八	: <u>Th</u>	: <u>Fi.</u> <u>Fi.</u>	五二四	五二四	· 五二	五九	五八八	· 五 八

金 製 富	紀州政事草紀州政事鏡を著す	庶政や 釐 革節儉を崇獎	牟婁郡奥熊野下湯川村に暗渠と穿つ	深覺公御贈位官	高瀨金懶牛堂惣一	將軍家宣公薨去	御參宮 刺田比古神社々領 二年	朝鮮使來聘在德元年	琉球使進見	牢舎一人もなし	御簾中御逝去	武家諸法度を頒つ	三家之方々黑書院閾內にて拜謁	天皇御受禪	名草郡坂井村の龜池を築造す	和佐大八御祭
五四〇	TL PH	Ti, project	万四〇	Ti.	FL PY	五五五	五二元	五三四	五三四	五三四	五三	正三	五三	II. = -	五三二	五三

	_	_
-		7
ı	J	l
ł	_	b

	甫 貴	i
	紀州政事草 御貞著	Ji. 九 一
卷	卷之十	
	紀州政事鏡上卷	六三
	紀州政事鏡下卷	六五九
第	一 册 自卷之十一至卷之十九	
卷	卷之十一	
-1.	大 慧 公 重寶曆七年七月 二 日	
	御 譜	
	西條御相續	Ξ
	御本家御相續 六年	Ξ
	從三位中將御任叙	Ti.
	長福丸樣西丸へ御引移	六
	小次郎樣御城へ御移	0
	宰相御任官	
	唐船追討を命す	

將軍より御店前へ佛具御寄附同	長保寺へ經卷を納	舊嗣崇敬建碑 後數回あり	御家中節儉の合	万石以上上け米諸大名參勤交替用捨の事	公儀に獻米	紀州御領分御巡見	將軍家より熊野三山初大社へ太刀進納同	和歌玉津島天滿宮 宸翰の神號を賜る同	勢州捕鯨 後紀州等にて捕鯨の事あり	炮術之儀御工夫 後數回此事あり	勢州領御巡見	山城守君御卒去	淨圆院君御下向	御初入	中納言御任官	大宮御鷹場御拜領
十年	九年	八年				七年	六年	五年	py 4p.					享保三年		
	1111	= 0	11111	11	111		=0	=	八八	一七	一七	一六	四四	四四	四四	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1

吹上八景	山藍を一條關白へ進呈 三年	一刀流御劔術	鑄 錢	貧民救恤	紙錢通用停止	田方虫害	九十間馬場新築	金銀遣停止紙錢通用同十六年	青山殿火災	刺田彥社領御朱印	長義の小刀御拜領	舶來の象 御覽	後藤角兵衞大石彥大夫双傷同十四年	日光御社參供奉同十三	沖の島の牧馬を獻す同十三	父母狀を領民へ下賜
年					年	4		年	年				年	年	年	Δp=
Ji.	四九	14	PY *	hrd hrd	174 174	1/4	Jry	/ U	北	三八	=:	三七	<u>≡</u> 1i.	li.	三四	- a

常如君	利根姫者 源姬	朝姫君	公子譜界	御子孫表	御逝去	若山大水 御家中及在町へ金米を賜ふ	千首御詠歌 可 五年	吹上八景御能	公儀より御借用金 寳曆甲戌曆頒布	御中居殿火災 二年	初て紅葉之賀御能	節儉を介す	紀州総龜綾稿を獻す	大納言御任官 從二位御叙位	能野人參獻上 延享二年	白砂糖を初て獻上
七〇	六八	六八	六八	折込	六七	六六	六〇	六〇	五八	Т.	五八	H.	Ti Ti	五四	五三	五二

В		=		Þ
•	•	-	•	۰
		٠		

一御行狀草案には	に筆	附言	雅之進君	悦姬君	載姬君	悅姬君	圭 姬 君	忠姬君	富千代君	豊松君	孝三郎君	春千代君	久 姬 君	喜姬君	直松君	
御歸國の年毎又大宮御鷹楊御滯在中將軍より上使之事必す記載ありさ雖も是恒例たるにより暑	據りし也		雅之進殿 新三郎殿 於こる殿 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							豊九郎 於照 直之亟			秀三郎殿			
名	3		九二	九	八儿	八八	スパ	八七	八六	八二	八〇	八〇	七六	-	七一	

提菩心公	
至明和二年	

御滯府 一〇七	朝鮮來聘使	御中屋敷へ御移徙	天皇崩御	御不例御滯府 10六	赤坂郎內類燒 一〇六	幕府御代替 一〇六	江戶大火	御 再 緣	御初入	寺內佐吉年堂矢數 岡田大藏 同 八年 一〇四	中納言御任官 一〇四	御相續	世子中事歷 從四位下中將從三位轉叙參議任官	御略譜	
---------	-------	----------	------	------------	------------	-----------	------	-------	-----	------------------------	------------	-----	-----------------------	-----	--

	君之	於於義	於義	致姬君	門之進君	定姬君	粂之丞君	勝姫君	直松君	公子譜畧	公子孫表:	愛君	順宮	御簾中譜畧	御逝去:	新殿出火	琉球使來朝	
	語 線 明	丸	丸	松平越前	泰良院	松平勝五郎へ	觀自在	松平加智	條池院黔			明脱夫人	淨眼夫人		和二			
九八七六六五五三三三五一九八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	_	-	name di		_	-	_		_	_	#12			-			area di	
	九	-	一七	六	-	Li.	Ti.	=	1 11		込		1	0	()	0	0	

-	於	於	於	賴	義	金十郎	逸姬	房	國	女	榮	於	保	千之	雄	大	銕之
						郎君	処君							千之丞君	之		銕之丞君
9		英	鑑	充	郎	寄左	36	丸	姫		郎	晴	姬	葆左	助	吉	勇內
					廣德院	Inch	窓泉院	阿部飛馴守					•	葆光院			勇信院
	6 6 6 6	0			•	•	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0		•				•	•	•	
		_		-					-				-			-	-
	三六	三六	三五			二二八	二二八	1 = 4	二二六	三六		二二六	= = = = = = = = = = = = = = = = = = =	1111	1111		一九

厚阿 觀安 遊松	令 易
源 君 君 君 君 君 君 君 君 君 君 君 君 君 君 君 君 君 君 君	日勿
君 丸澤美久郎 助 丞郎 承郎 承郎 第三聖星大松	时为
: :	
部 : : : 院攤院勘院下 浦 土長院室院下 : 德京	
學是 學是 學不 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	
由 矢 和	
後 順 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
記	
五五五五五八四四四四三元三三三五五五八四四四三元三三三三二三五五五五五八四四四四三二三三三三三五五五五五五五五八四四四四三二三三三三三三三三三三	ーニせ

御道中御關札殿文字に認	中納言御任官 一	初て御入國大御能 一	御初入	御中屋敷出火 一	宰相御任官	御相續	世子中御事歷 一	御 鎌 中 暑譜	御實	御 略 譜	觀自在公	卷之十三	賴看公御言行 1	陽雲院君	遇光真流君 1	覺眞春夢君 一	
一七七	144	一七六	一七五	一七五	七五五	七五五	七一七一	一七一	一七〇	140			五三	五三	<u>H</u>	五	

舒 姫 君 ··································	御子孫表 ····································	高野山御登山之事 ····································	同斷再び燒失 御下屋敷御住居燒失	伊勢御參宮	能野邊御巡行 ····································	御 隱 居	江戶大火
九九九九六四四	九九九	一九八九	一八八八九	一八八六	八八六	<u></u>	一人人

公第一	卷之十四	觀自在公附錄	幻壽院君	青樹院君	綠覺院君	如電院君	丁之助君	乙之助君	備炉 君	方。如君	雅之助君	鋒雄和	岩千代君	彌之助君	鐵紅姬君	等之姬君
至寬政 元 年		100						0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								
						0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0									
							0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			
		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	6 9 9 18 9 18 18 19 19 19 19		9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9 9 9 9 9 9 9			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
		1101	101	11011	1011	11011	101	101	1100	一九九	一九九	一九八	一九八	一九八	一九八	一九六

權中納言安永五年	梅澤圓五郎强弓	元旦兎御祝儀の由緒	文武を獎勵儉約を合す	左右之奉極めて簡易に從ふ	誓詞を廢し謁見俯伏を停む	御門限の法復舊	制法一つに先規に遵ふ	節儉を介す	御本家御相續從三位宰相 ········· 网年······· 网年············ 阿 四年······················	賴讓公御養子安水元年安水元年	御婚姻	細井平洲を聘す	西條家御相續寶曆三年	公子中數件	凡 例	引用書目
二六三	二六一	二六〇	二五九	二五八	二五七	二五六	二五六	五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五	五五五	五四四	三五二	五二	五	二四九	二四七	二回六

幕府金銀融通出金の冷	惡疫流行醫藥方書を頒布す	天下大饑管内飢民なし	佐野善左衞門田沼山城守を刺す	赤坂邸內類燒	友ヶ島の牧馬を獻す	信州淺間山噴火	野呂助左衞門江戶本堂惣一 :	漂流人を引見す	節儉を合す	栗生源五左衞門を賞す	夷齊廟堂之記	有疾士民山川に禱る	訴訟箱を設く	軍實を関す	童子訓御自著	鈴木悌職の弓術を賞す	
	To the second se	MOII	を刺す	IIIOII		11101	芯一 :		九〇		二八九	二八七	二八七	二八六	二八六	一人六	

														卷		
勤	勇	文	節	方	仁	至	夙	御言行	童子	五眞教	愼終	漢文記事	香嚴公第二	卷之十五	御逝	朝鮮
政	武	文學雅量	儉	方正謹愼	愛	孝	夙英捷悟	行錄.	訓同	解	論		第二		去	朝鮮信使延聘の合
										御自著	御自作	上田章撰				時の介 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
三七六	三七三	三六五	三六一	三五八	五二	三四七	三四六	三四六	三三九	三三八	三五	三二七			minim	

異國船漂着取計方布達	寬政曆施行	若山城間席局名等を改稱	琉球人參上	久野近江守壹万石に被 仰付	朝鮮人漂流之節心得方公儀觸	攝州多田院神影等御覽	公方樣小金原御鹿狩 :	熊野御參詣	御簾中樣御逝去	御中屋敷表御殿等滿作	火消纒六葉葵に改	御貸付金壹万兩廻付	松坂城堀土砂浚	松平越中守定信辭職	江戶學館新設	中山大納言等登 城松平定信應接	
		九年	八年														
四三四	四三三	四三三	四三一	四三	四三一	四三一			四二九	四二九	四二九	四二九	四二九	四二八	四二八	四二六	

熊野本宮御再建	松前若狹守の所領東蝦夷地上地 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	間宮倫宗獨歩蝦夷地より北韃に入る ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	初て聖堂御參詣	藤澤上人拜謁	伊能忠敬初て蝦夷地測量	權現樣より御附屬舊家之系譜を提出	江馬稚川徳川淵源八拾四卷を上る	大宮御鷹場にて 公儀御鹿狩 :	蝦夷地警衞之布合	赤坂邸內出火	禮儀類典新寫	花山追鳥狩	日光御門跡御入來	御參暇日限	公儀御獻上物來年より以前之通	和歌玉津嶋社へ 禁裏より御奉納	
四四七	174 1-1:	四四六	四四六	pq pq Ti.	四四四五五	四三七	四三七	四三七	四三六	四三六	四三五	四三五	三五元	三五	三四三	四三四	

御參暇期當分秋中	英吉利船長崎へ入港	學文獎勵之介	魯西亞人蝦夷エトロフ嶋を亂暴	江戶御家中衣服儉約	琉球國使節參上	御家中浮置步增幷儉約之令	紀伊續風土記新撰	邦安社御建立	江戶大火 ************************************	堀江平藏を拔擢御政事改革 敷條	舜恭公第二 重嘉永八年正月	卷之十七	魯西亞使節レサノット漂民を送り來り交易を請ふ	砂糖製造拜借金御返納年延	江川太郎左衞門家來望月鴻助於安藤札右衞門宅自殺 :	御供御行列改正
同 六年		同 五年		同四年						文化三年			文化元年			三年
四八六	四八五	四八四	四八一	四八〇	四八〇	四七一	四七〇	四六九	四六九	四六一			四五八	四五七	四四八八	四四十

御上納金五ヶ年御差延・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	金貳万兩御拜領	赤坂御本殿燒失	英吉利船浦賀へ入港互市を乞ふ	三卿樣方御互御兩敬	御獻上初御省畧年延	英船琉球に來り交易を乞ふ	御引移に付金壹万両御拜領初數條	式部卿樣御聟養子	從二位大納言御任叙	御直書を以御目付へ御沙汰數條	若山湊邊大火	御灣國 御所勞に付	顕年上工を起し水利を開き廢田を墾す ·······	權現樣貳百回御忌御法會	若山城內大與局向燒失	鲁西亞人罪を謝し生捕八人を還し蝦夷の境界を定む …	
			同十五年	同十四年					一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一			一年		一年			
五〇二	五〇二	五 〇 二	五 〇 一	∄i. ○ —	1 .	Ti. ()	FL O	Ji.		四九七	四九六	四九六	四九五	四九五	九四	九	

向後前大納言様と奉	西濱御殿御普請出來	御名順之事	御隱居	英人東海に出没常陸	麹町御殿類燒	川上邊百姓一揆を起す	上使を以て御直衣御	御解瘡御眼疾に付御	英人浦賀へ渡來・	赤坂御本殿上棟御	蝦夷舊領地を松前志摩守	御瘧疾	若山西丸にて相撲御	三季御獻上物初る	御住居御火災に付來	西濱御殿へ御逗留	
稱	向後御住居			大津濱に十二人上陸		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	着用御冠御召繁文御用ひ被仰出	麥府御斷		婦人出來あり	摩守へ返還				辰年御參府御用捨 ヒ年 - 御用拾		
·同十一年…	一 十年 …	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		.同 七年				.同 六年…		.同五年		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	.同 四年	同 三年:		·文政二卯年	
	•	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
五一七	ル つ 七	Ti. 〇七	五〇六	五、〇六	元 () 六	五〇六	Ti.	Th. O	五 〇 四	Ti. O	五 〇 四	五〇四	Ti. Opu	五〇三	7i.	Т. О =	

												•					
御逝去	御家政向厚〜御世話に付 公方様より御褒詞	和歌御旅所場所替	大納言樣 靈章公 御逝去	御琵琶御拜領	上使伊東修理大夫へ御出會修理大夫狼狽之件	此度限金壹万兩被進御一生之內年々壹万俵つゝ被進 …	大納言樣 顯龍公 御逝去	年々金千兩つゝ御拜領	文恭公御遺物御拜領	從一位御叙位	駿州海藏寺本尊御拜禮	御位階御祝儀大御能	正二位御叙位	御國內限裕衣被爲召	公方樣御召之網代御駕籠御拜領	太眞樣御逝去	
同 六年	同	同 三年	嘉永二年						:: 同十二年			阿姆奔	天保三年		同十三年	同十二年	
五八	五八八	正七	五一六	五一六	<u>1</u>	正四	工工	五四四	正三	五二	压力九	九九	Ti. O N	五〇八	五〇八八	ii. Ot	

式部卿君	鋒姬君	虎千代君	富姬君	乘元院君	銓 姫 君	空生院君	豊姫君	信 姫 君	御嫡男	喬姬君	磐 姫 君	公子譜略 :	御子孫一覽表	御簾中御譜	舜恭公薨去拾遺	御事蹟:	
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			6 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9 9		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0									0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	遺		
	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0																
			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	000000000000000000000000000000000000000	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	9 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
																	.1
正七九		11. 七七七	五七七七	正七七	五七六	正七六	五七五		正七五	五七四	: :: :: :: :: ::	7i.	北七〇	五六八	五三九	五九	

江戶八丁堀邸類燒	從二位大納言	公方樣赤坂馬へ御立寄	公方樣御昇進內府公卻位階	初て御參府	御初入	異國船打拂之令	天明之度御拜借金葉捐籾貳万俵御拜領	中納言御任官	孝子旌表 以下數十あり墨す	膨 縣親覽	英船薩州寶嶋へ上陸亂暴	御家督御相續	世子中卻事歷至文政七年六月		顯 龍 公 至弘化三年閏五月
	同十一年		文政十年	文政九年		文政八年					0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	交對七年		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
五九二	五九	九九〇	五八九	五八九九	五八八	五八六	拉八六	五元					i I		FL C

濱町邸類燒	米價高値江戸市中餓塗多し	權田原久野健之丞抱屋敷御讓受	木村長藏南紀忠孝畧傳を著す ····································	西濱御殿大奥造營	清溪公御靈屋修繕	駿州小川村海藏寺本尊大奥にて開屋	湊御殿造營 天保四年上棟式	清溪公御贈位 三年 同 三年	御召獵虎皮御鞍覆御拜領	異船東蝦夷を侵す	南龍公和歌御靈屋造營	御挟箱御簑箱塗色 公儀同樣に成る	八町堀邸殘地三方御相對替同十三年	年々金貳万兩つゝ御取替 天保九年同斷同十四年にもあり	築地邸御 拜領 ハ丁堀邸之事あり	右に付米五千俵御拜借
五九九九	Ti 九 九	九九九	五九八	五九七	九九七	五九六	五九六	兀 九六	五九六	压 九 五	九川川	九四	九九四	五九三	五九三	九九二

两丸炎上	諸國飢饉	御大禮御登城之節退紅之者之事	御使札御贈物來る未年迄は是迄之通	若山金庫にて三千兩紛失	赤坂邸辰巳之方町地火除之為圍込	舜恭公從一位	正二位御叙位	赤坂御本殿上棟式	公儀御代替 九月將軍宜下	大- 大-	公方樣御隱居天保七年	赤坂邸兩之方火除地	金貳万炳御拜借あり	赤坂御本殿燒失	三季御獻上物之外御獻上物猶又六ヶ年御省畧 天保十一年尚	築地邸類燒
六〇六	六〇正	六	六〇五	六〇五	六〇五	六〇五	六〇四	六〇四	六〇四	六〇四	六〇三	六〇三	六〇二	六〇二	六〇一	五九九九

勢州御領分海岸へ異國船渡來之節守備之事	日光御豫參	御拜信金常暮上納差延 翌十四年にもあり	山中筑後守と軋轢互に浮沈之事あり	山高石見守父子御祭 外連及數人	異國船渡來之節無二念打拂之合や廢す	原町邸相對替	御出仕御精勤之旨 上意	閣老水野越前守施政之事委細あり	公儀諸政大政革	前將軍家齊公薨去	赤坂御本殿滿作御移徙式	金壹万五千兩御拜借	紀伊續風土記新撰大成 交儀〈獻上 十年	原町邸御拜領 水野土佐守上地之分	公儀巡見使 御城下通行	麴町邸內物置類燒	
六三五	六三六	六三五	大三	六二九	六二七	六二七	六二七	六一六	六一四	六二二	1. 2.7 a	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	六()	八一七	\(\tau_{\text{L}}\)	六二七	

Ti.

御 略 譜 ··································	卷之十九	菊千代公	中納言公	伊會姬君	明元院君	清影院君 ····································	幻成院君	庸姬君	心淨院君	相幻院君	菊 姫 君	公子譜略	卻子孫一覽表	御簾中御譜	御逝去
AL.		六五八	六五八		六五七	六九七	大	六五六	六 五 六	The latest	六.f.L	大	六 加	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	六四八

第三册自卷	清凉院君	辰次郎君	秋姬君	衛千代公	鎤 姫 君	鈎 姫 君	龍千代君	延姫君	公子譜客:	公子一覽表	御簾中御譜
自卷之二十至卷之三十											

卷之二十

昭德公第

至安政元年十二月自弘化三年閏五月

御實母譜界

彻

巡往

貳萬枘つ	奥御 登城	外國船上總に碇泊 四月にも米國人蝦夷アッケシに上陸	御 袴 着	若山御天守上棟式 翌年六月落成式	孝行人賞賜 時々同事あり暑す	初て鐵炮四季打を免す	御宮麥	米國人北蝦夷へ上陸	御家御條目	御幼年に付五節句初式日御年寄へ謁す	چ船浦賀に入る	御幼年に付左京大夫様水野土佐守へ幕命	御相續	米國船與州海通航 ····································	齊疆卿御逝去嘉永二年	御養子	
-E			.1.		*	Ii.	i. :	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Ti.	i. :	14	pu		=======================================		0 0 0 0 0 0 0 0	

亞米利加軍艦浦賀へ入港數件 四月にも同船琉球に來る	渥美源五郎を罸す 五月山中作右衞門等同斷	湊御殿諸局引拂	東國 震災 翌年六月近畿地震	一位老公薨	伊達藤二郎を罸す	朝鮮來聘使延引	山中筑後守死去	四丸炎上	外國船伊豆海に見ゆ 八月蘭人より忠告	御元服從三位中將	大炮製造	御 疱 瘡	熊野三山社修繕	一位様思召にて和歌御旅所處替	海防布達	將軍芝邸へ臨御
九	八	七	七	七	六	六	五	四四	四四	=			0	九	ţ	古

水野安藤兩家依願上ヶ知下付	賄町人御家中へ對し金融の布達	江戸御家中具足所持之者へ褒詞	水野土佐守へ新宮奥力知を下付	海岸防禦掛り員を命す	御屋敷相對替	明年亞米利加船渡來之節の心得		御讀書号馬御稽古初 翌年御習字初	醫師役者家業不得手の者相當の職務に命す	大船製造の禁を解・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	内 海に砲臺を新築	魯西亞船長崎に來る 電船窓年正月退去 電船環球に來り替入北蝦夷に居處を管す	へも同断十一月にあり …	將軍 [[[] [] [] [] [] [] [] [] [水戶老公參政	江紀諸有司罸せらる	
P4	py (三九	三九	三四四	三四四	=				-	三〇	二九	二七	二七	二七	gand gand gad gand	

諸國大地震	御家中着具足並	若山近海へ異船渡來	中軍船製造	西洋大砲鑄造	御家中衣服省略	品川新砲臺諸有司見分 十月公儀新造の大船を有司見分	具足所持無之者除金新調の方	御政事向の儀存念可申出	御家中世禄	十月營艦下田に入る 十二月米艦下田に入る條約書を出す其他あり 八月英船長崎へ來る	御目見以下跡目被 仰付	築地邸相對替	者山海岸防禦持場	亞米利加船浦賀へ渡來 新月條約附錄を定む	仁井田源一郎御領分の海防議を呈す	藝術御秘事の禁や解く	
六九	六八	六四	六三	六三	*	*	Ji. 九	压六	<i>Б</i> .	7i. H.	h L	H. Py	五三	四六	四五	四一	

赤坂邸中へ文武場や建築	亞船日本海測量を乞ふ	佛蘭西艦長崎に入る 英國軍艦長崎に來舶 魚使カムサッカに赴く	水野土佐守依內存知行所村替	梵鐘や大小砲に改鑄の 勅	養老賜米	水野安藤兩家の浮け置上け米を免す	亞米利加國ご條約を交換	昭德公第二 直安政二年正月	之二十一	紀州近海防禦の幕命	叡感の御沙汰	魯英亞三國の條約書	家業不精の醫官罸す	本居獺四郎へ國學教授を命す	在町へ大船製造費の日錢を課す	初て友ヶ嶋奉行を置く	
-------------	------------	--------------------------------	---------------	--------------	------	------------------	-------------	---------------	------	-----------	--------	-----------	-----------	---------------	----------------	------------	--

八八八七七七七 七 七 七 七 七 七 七 九 八 二 二 八 七 七 六 六

小鳥合會		和蘭陀通商法變更	君澤形船落成	ハルリスノ演説	亞國使節登 城拜禮	雨京帥 (內奏 開國起源之論 其他等	亞米利加使節登 城拜禮之內旨	武術一流に不泥隨意に他流を學ふへし		深川新大橋邸を借地	執政に行逢の禮遇	若山にて着具騎戰調練安政四年	昭德公第三 重成 五年六月	卷之二十二	地上濱口儀兵衞を賞す	千駄ヶ谷副邸相對替
三七	一三七	一三六	三五五	三四四	1 11:11	三四四	111111111111111111111111111111111111111	manufacture of the state of the	1111	11111	1111	1111			1=10	1=10

老中更迭 2 2 2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 6 7 7 7 7 7 7	船下田に入る 其他	建儲論數條 一	御養君の內旨 一一	延期の書翰 一	亞米利加條約之件 勅答の趣を三親藩初諸侯へ示し各自の意見御下間條約調印	他流試合の事等數條 一	勢地の槍劔家を召し其技を驗す 一	應接	井伊掃部頭大老さなる 井伊掃部頭大老さなる	京都應接の巨細其他外國に係る事件數條 二	堀田備中守上京外國の事を奏す 一	御具足召初 一	亞國と和親交易假條約 一	諸侯の意見を下間す	外國應接の事奏上 一	
一六六七	一六七	五七	五七	五三		力	加九	PY	四七	四二	P4 —	29	py	三九	二三九	

二九〇		御 相 績
二八九九		御 略 譜
		當公第一至文久元年十二月
		卷之二十五
二八六		同 御譜略
二八三		附御臺所和宮御逸事
二四一	筆記	御小姓頭取野村丹後守衛
		昭德公第五
		卷之二十四
八八八	言:	御小姓頭取野村丹後守筆記
		昭德公第四
		卷之二十三
八〇		御幼時御言行
一七九		御供之面々拜命
一七七		御養君御拜命
一七三		議論數條
一七三	營條約調印の非を論せらる	尾水兩公不時登 營條公

	水野土佐守特進之札	國へ本條約為取替	御 緣 組	青山御添屋敷出火	中納言御任官	御本丸炎上	水野安藤兩下町へ御臨行	若山惡疫流行	世古格太郎吟味	大獄事件	水戶老公御國へ御發途	松平左兵衞督水府へ上使	水戸公御父子御答め 一橋卿同斷	御入國南龍公 支干相當	魯西亞人二名橫濱にて暗殺せらる	千射御演習
	:同二月	: 安政七	•	•	:同十二月	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	: 同 十月		0	0	•	•	•	同 八月	: 安政六年七川	•
	n parla	==0		HHO	三三〇	三三〇		三二九	三二六	三五	三二四	三八八	三一六	三一六	= Ti	三一四

和宮榛將軍家へ御繰組	孝行人を賞す	是張老公一橋卿御愼御免 老公御逝去		大夫免	暇不被仰出	河警新氏人と工言・宮す	御歸國御暇御延引 五月に當年は御暇不被仰出	; 井 表 《 伊 騒
同十一月						同間五月		同 三月
	三五四八	三四七七	三四四六六六	三四四		三 三 三 二	三四二	

幕政御改革	題龍公彻法合に付將軍家より御名代	田安公御後見御免	間老久世大和守上京命らる	尼州老公一橋卿御不興御免松不肥後守松平春嶽御登用	浪士騷動及伏見寺田屋事件四	樣卻婚禮	関老安藤氏の評論 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	暴徒閻老安藤對馬守を要擊	當公第二 至同年十二月	卷之二十六	和宮榛江戶へ御下向 文久元年十	時事數件	長州開國論之幕府へ建白	伊豆國島々及小笠原島へ外國奉行等派遣	其他時事數件	唐太經界談判
H								<i>F</i>			年十二月:		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
三九六	三九六	三九六	三九万。	三九四	三九二	三八八八	三八五	三八四			三八三	三七七	三七七	三七七	三七四	三七十

七 fi.

御上洛被 仰出	衣服制度變革 乘切登城獻上物御苑等	山陵御普請	京都所司代酒井若狹守御祭	諸侯參勤交代の制度大改革	朝延頻に 勅書を列藩へ直賜	水戶源烈公御贈位	島津三郎生麥村に於て英國士官を斬殺 関 八月	長州世子 勅書を奉し東下	安藤對馬守久世大和守追罰 月	御政事改革の論説數條	松平春嶽殿御政事總裁	万石以上軍艦にて參勤歸國及供連れ減略勝手次第	刑部卿公一橋家再御相續七 月	時情互細	勅使大原左衞門督下向	長州再ひ書を幕府へ呈し御上洛を建議 ガーガー
0				0								•		0		
174 124 —	四三八	四三六	四三四	P4 	[M]	加力	四六	Pq	pq	74 	рч () ;;	四〇六	py ()	四〇三		三九九

上京御家老御暇 ····································	藩臣伊達五郎横井次大夫紀州を脱走御國事を 幕府へ直訴す	御婚姻式被為整	勅書を以て紀州海防 御尋	攘夷詔勅之 御答	動答及征夷の義誤解の辨	將軍家御官位一等御鄭退十 二 二	動 說前後 撞著及事情	攘夷決定の勅使	故井伊掃部頭及元閣老輩追罰十一川十一川	御麻疹	御召の端反笠御拜領十 月	御三家方は三年目毎に一年の「御舎府 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	近々御國許への御暇	吹上御庭御拜見
四六七	加工	加加二	四五二	五一	Ti.	pri pri	四四六	四四八六	四四三三	四四三	四四三	四四二	四四二	P4 = :

暴徒但馬生野御代官所を襲奪	京都御發駕御歸國	農兵總裁を置	御參內	撰士貢獻御免	攘夷別	藩士浪士堂上へ立入を禁止	江戶常府御用人若山移住	非常之節六鄕川邊等警衞	將軍御上洛被 仰出 十二月御上洛	大坂へ御出馬 并御上京	正親町殿迎守衞人數長州へ派遣	大和一揆追討	朝議一變 八月十八日	大和行幸の矯 勅	京都會津侯へ御使	御參府之幕命	
·····································	Fi.	The contract of the contract o	The Cartesian Ca	In O =	The Control of the Co	<u>к</u> О	T.	ж. О	K		四九八	四九七	四九六	四九三	四九	四九二	

條邊へ出兵に付情報數件	浪士高収城へ押寄敗北の情報 五	天朝より我藩へ一揆追討被 仰出	浪士高野山へ登山の屆 五	大和列藩及藤堂和泉守へ一揆追討被 仰出 エ	物主初一二三の手御人數橋本五條へ出兵 五	浪士五條御代官所を襲撃御代官鈴木源内初を暴殺 五	浪士大坂より乗船堺上陸屆 五	大和一揆追討顛末	常公第三附錄	卷之二十八	御廣敷向銃隊編制	大和一揆追討の御家中へ賞賜 五	將軍家御上洛 五	大和一揆征討の 勅賞	將軍家御上洛御遲緩に付御老中へ御使 五	御本丸炎上 ······ 五	
五i. 二 六	五二五	五二四	五二四	7i. ==	Ii.	Ti.	Ti. 九				-t:	Ji.	74	11.	11.	11.	

水戸之兇徒兵を舉け筑波山に據る	元治と改元 三 月	長州朝命を矯め攘夷令を發さ 炭輪の刺書	御入京	公方樣御着坂御上京	大坂へ御發駕 耳 月	當公第四 室间 年十二月	卷之二十九	高野一山寺院へ御挨拶金品被遣	一揆浪士名錄	贼徒討取召捕姓名	追討手續書	追討の部署人名 幕府へ御属	追討軍對陣且接戰等の上申書	十津川郷鎮靜に付 朝使巡行	大和國御預所引渡受取	和州艦家村山内にて賊徒總裁松本謙二郎を討取 山高左近手にて	
五九三	五九三	li /	五八八八	五八八八	五八八八			Ti. 八 三	五七六	正七三	花七	五六七	五六二	五 六 ()	五五九	Ti.	

御總督替	公儀より米五百石賜る	長州征伐御總督	長州征討關係事項數件	長州勢京師へ亂入 禁闕へ發炮	横濱鎖港談判の幕使外國より歸朝	江戶西丸造營落成	大坂御入城	公方樣關東へ還御	大坂御守衞に付何書	御登城御饗應御拜領物 御供之諸有司 御目見拜領物	公方樣大坂御入城	一切幕府御委任且十八ヶ條之 勅	正三位宣下 御辭表 五 月	公方樣關東へ御暇	大和一揆追討御賞	大坂御守衞御下坂
六三五	六三五	六三二	六一八	六一七	六八九	六八九	六〇九	六つん	六 () Ji.	六〇四	() py	Ti. ルル	五九八	Ti.	九九七	たした

口宣々旨位記御頂戴十二月	諸侯參勤妻子任府復舊の幕合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	御簾中樣江戶御下向	御歸國	征長に付御手配り	御三家方御參府復舊	長防退治攘夷の勅願	安藤飛驒守再勤	征長に付一手の御人敷別段出張	一旦御歸國御達 暫時左京大夫樣御滯坂	軍事奉行新設	幕府月次御禮日復舊	御進發御旗本御後備	大御番頭へ 御直命	長州征伐御進發御供御願	堺表御警衞	御位階御昇進の御禮
六四七	六四六	六四六	六四五	六四四	六四四三	六四二	六四二	六四〇	六三八	六三八	六三八	六三七	六三七	六三六	六二六	六三五

御進發御供御願	長州再征御進發之命四月	心强流軍馬鞍術御覽	江戶御中間亂妨取締之達	將軍 御上坂被 仰出	御登城 御上洛之儀御建白 三 月	江戶御着	御參內 龍顏御拜御拜領物	若山御發駕	御參府の幕命 月 月 月	御後備 御免	御進發無之旨被 仰出 正 月 正 月	當公第五 自慶應元丑年正月	卷之三十	江戶赤坂邸文武場燒失	長州伏罪諸軍陣拂	御誕生日變更	
六六〇	六五八	六五七	六五六	六五六	六 五 五	六 后 后	六丘四四	六五四	六五一	六五元	六五			六 元 ()	六四七	六四七	

尾張玄同様より御返翰	御滯陣中陣羽織着	者山御出陣	江戶御發艦 関五月 関五月	公方樣御進。發聞五月廿二日	御登城御先手御總督御直命幷御拜領物	御先手御總督	公儀御軍令狀 丘 月	年號改元	養老の祝宴や賜ふ	横須賀製鐵所設置に付外國奉行を其佛へ派遣	御進發勢揃行軍御陪觀	御進發日限	權現樣二百五十回御忌	御後備且華城守衞 御免	華城御守衞 御死御願	御上洛御建白之御答	
***	***	六八〇	六七八	**************************************		六七四	六六九	六六九		六六二	大大	六六二	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		: : : : : : : : : : : : : : : : : : :	***	

將軍職御辭退 御奏聞十 川	朝命を以て閣老官位被 召上	將軍大坂へ還御	長防御處置御奏聞	英佛米 闌軍艦 兵庫に投錨先期開市を迫る	公方樣御上洛	彈正大鋼樣御卒去	御家來共の打毬 台覽	公方標御東下之聞えあるにより御建白	御家中世祿被廢	左京大夫樣より御陣見廻御人數御差出	御人數押前調練 上覽 七 月	十月十七日大小監察廣島へ可被遣末家丼家老等同所へ可罷出旨あり	長州糺間の為末家等上坂の命	石屋村御影村取締の幕命	長州處置御尋の御答	日々御登城御用部屋へ御詰 カ 月
六九	六八九	六八八	六八八	六八七	六八七	六八七	六八六	六八五	六八	六八五	六八四	六八四	六八四	六八二	六八二	六八一

千駄ヶ谷御添地之內相對替 土	御影村住吉村御警衞 御免	諸家攻口	石州路へ御人敷出軍	外國條約書之內異議御尋 +	公方樣卻在京中大坂御守衞 ☆	大小監察廣島へ出張長州糺問 六	御政務御勉勵 上意	一橋中納言樣御補翼	松平肥後守御政事御相談 ☆	住吉村及大坂市中取締被 仰出 ☆	右御請及ひ諸向へ 上意 ☆	條約 勅許	條約 勅許之儀閣老より 奏上 ☆	將軍職御辭退 勅許不被爲有 六	右御辭退の御内意 ☆	右に付御家より御建白 ☆	
七〇六	401	七〇一	七00	400	六九九	六九九	六九八	六九八	六九八	六九七	六九七	六九六	六九五	六九四	六九四	六九三	

毛利大膳初名に不應に付被 仰出 四 月 10

九一	大野村單字勝利 六月二日瀧之口戰爭 八月七日高馬ヶ峰同斷 七月廿七日廿八日同斷 1	藝石兩道御指揮	井伊榊原敗走	藝州口進軍	粮米三千俵御拜借	長州へ問罪使 數條	藝州へ御出張	京極主膽正四國討手取締	藝州御出張一刻も早く ボ 月	當公第·七 重慶應二寅年六月	卷之二十二	小笠原壹岐守小倉出張松平伯耆守着藝	御出張に付御拜領物	征長軍略小等原壹岐守へ問答	松平伯耆守を御差添	計入期限被 仰出	長州討入順叙の事達し	
	正八	五八	五八	五七	五六	四六	四六	四六	四六			Dy Ji	四四	<u>pq</u>	prj	C	三九	

御國論終始貫徹布達	國札近國五ヶ國へ通用 …	御歸國	一日,御歸國御願 天朝へも	御家中指物之制や廢す	御助成御願	將軍職御辭退さに付御建白	御上京御狩豫	御先鋒總督御免御願諸藩一同	江戶御家中調練不參者冥加上	大坂御着艦	御家中华知	藝州陣拂諸家解兵	安藤飛騨守處置何	高野山御支配御願立	長防休兵之 勅命 御慰勞の	米金御拜領且公儀海陸兵附屬
		十月						揚取	納金						動あり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
疝	1 111	1 111		-	-	0	一九九	- 0 t	一〇六	一〇大	一〇六		101	101	九八	九七

百文銭札を銀札に取交通用 三 月 一	兵庫開港の儀に付 御韓 ······· 一	征長御先備總督 御免 一	兵制改正の儀幕府へ御達 一 月	御國喪に付征長解兵 エ 月 一	當公第八 至同年十月十四日	卷之三十二	十津川鄕中浮浪之徒取調 一	御歸國	主上崩御 一	御參 內御馬御拜領	御上京	御家中御役順廢止 一	安藤飛驒守御處置 一	管沼新右衞門御祭西條家より伺 一	御上京之 朝命	十七歲以下病死跡目改正 一	
	三五	三五	二四四	=			1	11111	11111		1111	1	=	一八八	六	六	

近々御上京	政權御返上之儀江戸御家中へ席達 ニ	脱走之五卿虞置御下間御答 二	討慕之密勅內謀巨細 ······ 二	政權御返上に付御處置振 ニ	政權御返上被聞食 二公	當公第九 慶應三卯年	卷之三十四	政權御返上御奏聞	政權御返上の儀列藩へ御下問 一+	公方様より御眞書を以て松平容堂建白の儀御相談 一-	水戶樣御愼御免御願立 十 1 1-	松平容堂天政御返上を建白 カ 月 一。	長防寬大之御處置及兵庫開港 勅許 五 月 一	應接筆記其他巨細 一三	明光丸艦ご土州伊呂波丸艦ご衝突事件四 川 一	御役々廢止 一
二二七	二二六	=	1 1	1	= () /				一九八	九四	九四	一八七	八五	=======================================		

二七四

二八四

二六四

拾萬

石以

E

諸侯

改為召

二儿二

二九二

二九

日

0)

御門

御守

衞

御免

江戶御家中

非常覺悟之儀布達

江戶

御家

中

年

賦上

納

1-

T

TH

洋

. 銃下付

內府公御奏聞

内府公御届捨に

て御

下

坂

二八七

二九〇

領土返納か迫り給ふ聞食併て御辭官

御上京さして若山御發駕

廣堂大變革之事廣堂大議論之事等巨

細

長州入京大議論大變革之準備

王政復古之朝命

三浦休太郎

刺客之為に負傷

公方樣

より

御直

書を以御

上京御催

促

py

三三元

pq Ji. 於江

戶

御

連

枝

御譜代之重

問

と會

議

御

國

政改革之席達

御

上

京御先供着京

田

中

善藏遭難

始末巨

細

撤兵高野山へ出兵	近々御出馬の合	御奏聞の封物若山へ到達	熊野三山社家參與支配となる	國分寺今宮邊警衞	於伏見鳥羽兩街道戰爭	君側の惡を可掃旨御奏聞 正 月	當公第十 章 局 年 二 月	卷之三十五	內府公へ御呈書	佛蘭川式練兵傳習を命す	於江戶開諜入込取締之布達	政權御返上に付 朝廷より被 仰出	御不快に付一旦御歸國	鷲尾侍從高野山へ登山に付伺	飛脚書狀取締	酒井左衞門尉家臣薩州邸に潜伏之匪徒を討伐す
三〇九	三〇八	三〇八	三〇七	三〇七	三〇四	11011			0	1100	二九九	二九九	二九八	二九七	二九六	二九三

 	Born	當	卷之三十	A-2	718-	låe?	Fe?	7-	Phone	A.T	71.	A-T	& →	Photo	70.04	
同斷に付	御親征御	公第十一	三十六	各國公使	准后新殿	奥羽鎮撫	外國公使	江戶御家	御着京に	外國御交	舊幕軍艦	外國公使	紀州海へ	御病中押	藩有蒸氣	上樣江戶
御小休	留守中	慶應四		% 內	御造立	使乘船	参内 に	中より	付御用	際に付	熊野浦	多内の	賊船入	て御上	系船御用	印開城
所御守衞	京都御警	年自三月至五		爲め英公使	國役金獻	に付廻船	付市中巡	日光宮へ	御願:	洋銀通用	へ入津糺	勅命:	津の嫌疑	京 :::	0 0	幕臣激昂
inal	衞 ::	五月		使不多	納の命	の命	邏の命	哀願	•	の命・	問 ::			•	•	調が
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					•	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	•	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		•	•
				•			0	0	•	0		0		•	•	
				0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				0 0 0	0		•	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	•	•	
6 6 6	-			0	•			•		•	•					0
6 6 6 6	Я			•	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	•	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		•		0 0 0 0 0	0	0		
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	•			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	0	•	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
三七五	三七点			三七二	三七一	三七〇	三六九	三六八	三六七	三六七	三六七	三大三	三六二	三大一	三六一	三元五五

上巳端午飾り物の制布達	東御處分決て御寬容難被	御親征行幸御道筋守衞の 朝命	貢士人名御達	御參 內 宸翰寫御誓文紀綱法分數條被 仰出	英公使參 内途中亂妨人の件に付警衞隊長差扣	幕府軍艦紀州海碇泊の件	越前老侯より御書面	御親征行幸海軍 天覽	勝安房西郷吉之助に謀り江戸進撃を停む	諸神社神主癩宜等神祗官附屬	御所劳に付御參 内御斷兩家參 朝	英佛公使下坂に付警衞の 朝命	上様上意書を以て官軍へ對し謹慎可能在旨御宗家より達	御 參 內	英國公使參 朝に付途中取締
三九七六	三九五	三九儿	三九四	三八九	三八七	三八七	三八七	三八五	1	三八一	三八	三八〇	三七七	三七七	三七六

山城へ賊徒入込の御嫌疑に付監察使御差向	丁銀豆板銀通用停止	江戸常府早々引拂の 朝命 敷條	家中武術一層奮勵の命 五 月 五 月 五 月 五 月 五 月 五 月 五 月	江戸邸車門内へ投文	東海道應援の出兵字都宮出張見合	御宗家御和續	京都市中取締 御免	御所有の汽船御用	親王公卿諸侯供連の制	二條城へ 王座を被為移	金札製造列藩へ高割拜借	陸軍編制徵士軍資金被 仰出	切支丹宗徒御預	藩政改革付議事局を被置	神佛退淆廢止社僧還俗	大坂天神橋郎 御入輦相成候に付其儘御拜領御願
三四四	四三四	四三〇	四三〇	四二九	四二九	四二八	四二八	四二八	四二七	四二十七	四二六		四八八	四七	四七	四一六

-	
C)
DI	1

御簾中樣御道中人足遣ひ且御名稱の件	關東出兵台川へ出張御屆 四	東京赤坂邸を 御宗家へ御貸渡	船名馬力取調書	天機何御參 內	江戸を東京と可稱 勅諚	知月院樣若山御着輿	大坂地改て開港被 仰出	御三家の稱相止諸大名並ご可相心得旨布達	藩印の儀同	關東出兵手負討死の御達 七 月 四	御簾中樣御稱號の儀御沙沙	京坂近畿在勤の兵員取調可申出旨	紀州總繪圖幷高附可差出旨	伊勢內宮へ御奉納米可相辨旨被 仰出 四	御參內天神橋邸御用濟の御品御拜領御禮 四	江戸御片付製件
四七四	四七四	四七四	四七一	四七一	四七〇	四七〇	四七〇	四六九	四六九	四六八	四六八	四六七	四六六	六五	六五	六〇

御東幸に付被 仰出	舊幕府より受封の判物無之旨屆	禁裏へ獻上物伺 禁裏へ獻上物伺	米利堅船難船に付何	改 元	徵兵操込被 仰出	東京 行幸	三浦休太郎井田政一郎川端文四郎上京被 仰出	水野安藤兩家御政事向關係無之樣御沙汰	軍資金十五萬兩獻納被 仰出	公務人を公議人と改稱	日前宮國造神祗官直支配	御即位	養蠶獎勵の為桑苗下付	徵兵御差出之儀伺	諸國稅法被 仰出	疑問の答書
八六	四八儿	四八九	四八四八四	四八三	四八二	puj K	Pru	門七九		四七七	四七七七	四七六	四七六	上上	川七五	七段

1,1

五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五三三二八八八七七二一一一九八八七七六四三三

北海道北見國之內支配開拓被 仰出 五	十二月出訴の者を禁錮す 五	久野家の臣主家の朝臣たらん事を直訴す ······· 五	紀州汐岬へ燈明臺建設に付明神舊地へ遷社 五	公用人を京都に差置に不及 五	西條御附人御戻し	大	津田又太郎大參事 宣下 朝廷より御賞 五	東京御發途御歸國 五	百官廢止に付御位階を稱す	藩政改革之御賞 五	御參 朝御暇	東京御門警衞御免 五	高野山支配の儀伺	御客御饗應	會津侯家族御預け 十一月に家族引渡其他村上藩士	公卿諸侯の稱を廢し華族と稱す 五	
八六	八四	八四	八四	六四	五七四	五七二	七二	七一	七一	五七〇	五六九	五六九	五六九	五六八	五 六七	五六七	

川所平左衞門被引渡禁錮	和歌山藩出張所収建の伺	藩士を士族と稱し貫屬祿制の朝令・十二月・	御菩提所や長保寺一ヶ寺に御定	公廨所にて夢御紋幕等所用伺	長福丸者御生誕	和歌山藩諸參弄 汽下十一月	耶蘇宗門之徒御預け	紀之川筋口銀收納一ヶ年分元許	普國人カツピンを教師に雇入顧	大坂警衞御発願	版籍取調書提出	三浦久太郎井田政一郎禁錮御免願	有位之神職取扱振屑け	交替兵取立十 川	朔望十八日の召出しお廢止	家合家扶家從を命せらる 九 月
***************************************	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	六〇九			六 〇 四	***************************************	五九八	11九八	江九七	五九六		五九二	11九一	fi.儿〇	Ii.九〇	五八九

大智寺等の御靈牌御邸内へ安置	文武官人の服制を定む	南海測量	西丸御役宅へ御移徙	異宗之徙取締方伺 五月七日にもあり	元高野寺領境界を改定	普國人カッピン雇入延期	藩印影藩印被渡	百姓町人士分へ對し無禮及びたる處分法改正伺	府藩縣公廨を廳ご稱す	兵制改革兵賦編成す ····································	大少參事初於御前酒肴を賜	南龍院樣二百回御忌 明治三午年正月	當公第十四 查明治四年九月	卷之三十九	十津川脱鄕之者差止	武官職表を屆出る	
•	Т.	0 0 0	79	•	=			•		•	•				•	•	
	月	0 0	月	•	月		月	0	•	•					•		
0 0		•		•		•	•		•	0 0	•	•			•		
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0	0						
六二丘	六二三	大二二	六一九	六一八	六一八	六一八	六一七	六一七	六一六	六一五	六一元	六二元			六一三	六一三	
	-						-				-9-00	19.00					

華族家人職員	士卒族戶口人別調書	北海道北見國支配所奉還	津田又太郎東京へ被召	天璋院樣御初戶山邸へ御引移	伊達宗介洋行願	松平容保殿へ御贈金	明光鑑賣却屆	和歌山砂之丸政事廳諸局建設	江戶寺院御安置之尊牌御撥遣火中	普國人英國人雇入請願 七 月 七 月	紅葉山御神像久野山へ御遷座	長福丸樣御逝去	驛法政正に付藩内人馬賃見込伺	神道葬祭請願許可伺	神田橋御門警衞御免神戶表戍守	政事廳へ御出勤 ガ 川
六三一	六三一	六三〇	六二九	六二八	六二八	六二八	六二八	六二八	六二七	六二七	六二六	六二六	六二六	六二五	六二五	六二五

西洋沓製法傳習開業	御歸藩被 仰出 四月御参 朝	廣澤參議被害に付管内取締の届	赤坂郎内の桑葉獻上	松平容保殿御預け替	獨逸公使參殿	芝濱松町藩邸兵部卿宮御借用	大參事津田又太郎へ出京を命す 三 月	松坂在町八十八歳の者へ扶持米を下付	元武家華族東京府貫屬且家祿	田丸城破壞 一 月	御参 朝 二條 二月廿七日にも	屠牛所開設	御簾中藩地御在住御願	御上京芝邸御着 明治四未年正月	日前國懸熊野三山願伺屆等自今辨官宛を以て藩廳へ可為差出	賞典祿一時下渡御察度御進退御伺始末
大六六	六六六	六六元	六六五	大六二	六六二	ンスト	六六一	六六〇	六五九	六五九	六五九	六五八	六五八	六五七	六五七	六四九

											,						
御簾中略譜	御片付數條	和歌山御發途御歸京	和歌山縣士民へ御告別	文武官員へ御親論 社寺御參拜	和歌山藩を和歌山縣で改稱	元知事の面々九月中歸京	廢藩置縣の 詔勅 知事御免官	若山にて十二時號砲を始む	華族元服家督之節獻上物停止 七 月	赤坂邸中取締之達	管內暴風雨	商法為見習商人三名獨逸へ派遣 五 月 五 川	東京御出發	管內風俗矯正之布達	平民乘馬被差許	異宗徒取調外務官出張	
六八一	六七八	六七七	六七六	六七六	六七五	六七五	六七四	六七四	六七三	六七一	六七一	六七〇	六七〇	六六七	六六七	六六七	

第五 册 自卷之四十至卷之四十九

卷之四·

干

名臣傳第

緒

伊 言 之 部

村 市 兵 衞 脹

川 村 川 喜 甚 左 門 右 衞 衞 左 門 門 衞 清 家 長 知 家 門

市

市

]1]

門

太

夫

市

今

岩

手

儿

左

衞

門

信

政

伊

藤

叉

兵

衞

吉

重

犬

塚

共

左

衞

門

二六

0

二九

二八

井

E

其

右

衞

甲甲

jį

重

H.

七

六九三 六九二

今 稻 井 飯 飯 飯 池 石 石 井 石 石 井 井 稻 池 井 井 坦 野 田 和 田 黑 黑 生 端 上 H 關 田 田 長 出 忠 惣 藤 權 出 甚 藤 彌 佐. 加 右 茂 讚 左 郞 左 又 兵 兵 兵 兵 左 大 爾 衞 兵 衞 衞 左 岐 助 衞 衞 衞 郎 衞 近 夫 嬭 門 門 衞 門 太 八 衞 敎 輝 吉 吉 正 光 信 重 演 良 廣 道 IE 福 重 郎 門 利 重 國 信 增 定 重 央 重 郎 惣 次 高 八郎左 附

四〇

74

py

三九

三八

三八

三四四

fi.

fi.

K.

Ti.

根	****	Pons		, .	-	gard	1-	1-	1-	1-		名	卷之四	41	2.0	Pro-	
雅	服	服		林	長	原	橋	橋	橋	橋		臣傳	四十	池	井	伊	岩坦
	部				谷	ш	木	*	木		波	第		ik	田		根坳
及	Æ£9		內	75]1]	III	-In-	4	4-		之	-		71	龜	藤	
外			滅	4		權	源	彦	八					米	之		
海 (m) 市 兵衛正在 (m) 市 兵衛 (m) 市 (m) (m) 市 (m)	左		丞	4	藤		-				1115				助	外	門
明 道 承 衞 助 衞 衞 夫 明 中 記 成 附 市兵衞正在	衞		政	~	兵	Z	兵	兵	大					太	矩		師
市兵衞正在	門		眞	丞	衞	助	衞	衞	夫					郎	中	記	成
六 六 六 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五		市兵衞正															
	*****	六二	六一	六〇	*	五九	五八	五八	五八八	九七				н. Н	五四	五四	五三

堀	堀	本	細	同	本		贄	仁	西	西	丹	丹	丹	丹		原
部	田		-11-		間	保		到	尾	村	羽		羽	羽	仁	與
五	勘	多	井	次郎	Ħi.	之		17	孫	清左	穪	羽	金	久 左	之	
			長	大	大	部	掃	久		衛	四		+	衛	部	兵
左	平	八	大	夫	夫			大	左	門	郎	平	郎	門		衞
衞	重		人	可	季				衞	久	了		氏	氏		勝
門	保	藏	夫	近	近		部	夫	門	清	澄	助	信	廣		凞
八	<u>^</u>	八一	べつ	七八	セハ		-1:	七三	七二	-t: -	-1:	1:	六七	六七		六四

F. R.	耳	1	riir. SZ.	東	万	厅	万	万		星	圳	圳	圳	圳	圳	掘	掘	
H	1 1	1	順		田	田	H	田	発	HK	內	内	内	内	ìΙ		i E	
赌	į.		半	助	进	太郎	藤左	金左	之	野	儿郎	715	洿	715		II		
英			之	左	在	右	在	衙	部	作	兵	八	大	大	45		次	
稿	i I	E	水		門	衙門	門	pij	1110	兵	衞	QIS	夫	夫	滅		左.	
H	T	1	朝	衞	重	忠	隆	713		*	正	信	雁	E	政		衞	
3	रं हे	5	房	門	業	從	重	坚		衞	敏	1113	德	矩	展	藏	hrl	
	一六	四四	1 1	-	一〇九	一〇八	一〇六			0=	1011	九〇	八九	ハハ	八六	八六	八五	

-	
-	
D	

一二十二														Z	卷之四		
市 左 衞 門	大	同	同	同	同	同	同	同	同	同				名臣使	四十	布	
市 左 衞 門	村	^	موب	de .	12.	ماجو	. 1.	re.	H	da			遠	停 第		目	奴
帝	彌	金	彦		11=			共					之			市	之
在	兵	平	左	兵	右	大	右	右	兵		右						部
高 重 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一		定	街		街	夫		街	衞								
同人兵衞良政 同人兵衞良政 同大右衞門正信	高	~	[192.]	清	Intl	盛		[m]	良			房				衞	
大名衛門英明 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定			門	次	門	高				有						門	
五四四四四四三三二二二		三郎右衞門					次右衞門正	左門茂治	久兵衞良政			伊賀守房明 權左衞門英明					
	Ti.	四七	PY Ti.	- 174 174	P4 P4	四三	四〇		1 11 1	一二九	二二七						

大草久右衞門長榮	忍穗彌五右衞門	小栗主稅之助忠實	小栗彌左衞門正重	大崎玄蒂長行	遠之部	名臣傳第四	卷之四十三	岡部小左衛門	閩部太郎兵衛正綱	落合源太郎	落合七郎左衙門重長	落合市右衛門義次	落合左平次道次	尾寄平左衙門忠重	大敷新右衙門國安	大村孫兵衞高儀
	炒十郎		源太夫雅輝								下廊事			同所左衞門忠利		
九四	九一	九〇	一八九	一七六				七五	-1:	七二	六六	六五	五九九	五七	五五五	Ti.

小	大	大	小	大	小	小	大	岡	岡	岡	小	小	大	大	大	大一	
野	久四	久	田	林不		川	橋	村	本	本	柳	鳴	屋	屋	高	石山	
權	保四	保	切	平右]1]	+	次	嘉	金右	源	津	次郎	市	Æ	源右	十右	
大	郎		. P.J.	衙		兵		兵	御衞	兵		右		小	石衞	衛	
夫	左衞	熊	彌	門	監	衞	郎	衞	門	衞	作	衞	左	TO BOOK	門門	門	
辰	門忠	之		行		重	兵	廣	祥	Œ	大	門貞	衞	平	重	定	
居	成	助		定	物	哥哥	衞	道	邦	比	夫	清	門	次	俊	賢	
													孫一郎宣胤		新右衞門		
= 0	二〇八	-:		三〇六	= 	M		=	101	<u>=</u>	1100	一九九九	一九八	九八八	一九六	九儿	

加之部	名臣傳第五	卷之四十四	若尾右衞門四郎安親	若林善九郎	波 邊 半 平 珪	渡邊縫殿之助	渡邊傅四郎正朝	渡邊六郎左衞門生綱	渡邊又右衞門公綱	渡邊主水恭綱	渡邊若狹守直綱	和之部	岡權右衞門辰房	岡見市郎久映	大塚治大夫	奥村三郎五郎正尚
			三八	二三七	三二六	二三六	三五	111	二二九	11111	二九		二八八	二七	二十六	11 1 11

二二七

神	JII	JII	可	गा	片	垣	笠	加	加	筧	Ш	蔭	加	加	加	加
谷	合		兒	嶋	切	屋	原	藤	藤		北	山	納	納	納	納
善	間	井	長		次	-	助	次		四	長	土	лч з	大	Fi.	平
右	右	嘉	右	意	郎左	郎	左	左	大	郎左	左	佐	兵	隅	郎左	右
衞	衞	1313	衞	休	衞	兵	衞	衞	隅	衞	衞	守	右	守	流衞	衞
門	門	兵	門工	宣	門	衞士	門	門一	安	門	門	宗	衞		門	門
尚	光	独立	正数		重	吉	氏際	正		重	The			政	直后	入
證.	重	衞	榮.	海	衡市	綱	隆	勝	世	政	政	信・	門	直	恒	利角
					太夫重晴											兵衞久通 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
二七九	二七八	二七七	二七九	二七元	二六九	二六八	二六七	二六六	二六四	二六三	二六一	二六〇	二六()	二五九九	四四二	 pu ()

平 丹 後 吉	竹本茂兵衞正吉	伊達源左衞門正勝	太之部	名臣傳第六	卷之四十五	米倉傳五郎昌繩之事	吉田角之丞資意	吉田廟儿郎	横井次太夫時廣	與之部	葛山六郎右衛門泰久	龜田甲	勝田道順	川口與三兵衞	川村甚右衞門	川村角右衛門
竹本五兵衞之事	茂兵衞正房						金平資清				六郎左衞門維久 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		同宋清			
二九四	二九二	二九一				二八九	二八七	ニハ六	二八五		二八三	ニハニ	二八二	二八一	二八〇	二八〇

津之	園田伊	曾 根 孫	曾之	田所平左	田屋菊	高井	田中源	田中玄	田代	竹谷	瀧村瀬左	高橋	高城	武村三右	高岡爛五	辰 田 喜
部	兵衞祭	大夫長士	部	衙門季豐	右衛門	伊	兵衞好明	潜	角兵等	助太士	衙門光重	惣 兵 您	庄	衞門專	右衞門政	右衛門
	久	次					問	貞、附田中七三郎由恭履道	衞 附用潛專左衞門重意	夫 後美濃部さ改		衞	藏	道	昌	
	=]L			<u>=</u>	三〇九	三〇七	三〇七		0 = 0	000	= 00	二儿儿	二九八	二九八	ニルセ	二九六

版	長	長	波	版	長	夏	長	長	內	內	內		简	t	柘
田	尾	田	切	瀨	野	H	坂	坂	idd:	膝	膝	奈	井	屋	植
彌	勘	權	金七	權	九	州	义士		藤	兵	 活.	之	叉	市	mends mends
右	兵		左衞	兵	左衞	右衞	左衞	小	金	四	左	部	兵	左衞	-1-
衞	衞	郎	門	衞	門	hil	門	右	E	郎	衙門	1112	衞	門	郎
門守	_	吉	尚	重	消	定	入	衞	兵	E	忠		滿	滋	知
行	在	IE	政	俊	貞	次	綱	門	衞	重	次		熈	勝	忠
					權石衞門知貞										
三元三	三四〇	三三九	三三九	三三七	三五	三三〇	三八	三二七	三二六	三五	1111111			110	三八八

臣
傳第
Pits
F
784
-

日	內	同	上	同	海		村	武	武	村	村	村	村		
梓	村	· tr	野一		野	宇	鄙	藤		河	田	井			正
叉	נייוז	新五	三郎	五	兵左	之	T	平	藤	{1-1	九	入右	鄉右	彦右	Z
滅	叉	左	右	郎	衞	部	藏			軍	郎	衞	衞	衞	音
	+	衞門	衙門		門				萬	兵	右	門	門	門	
天		忠	忠	transition of the second							衞	敬	重	義	
常	郎	入	次	郎	次		長	門	休	衞	門	行	國	清	
三八九	三八八	三八七	三八江	三八四	三八二		三八一	三七八	三七七	三七五	三七四	三七三	三七二	三元	

畦 柳意春吉景	昨 柳 壽 學 盛 政	米武兵衙吉	同和泉守宗传	215	久之部	名臣傳第八	卷之四十七	野澤次大夫	野本彌大夫友憲	同 久左衞門乙長	野間與五左衞門尚忠	同甚助舒利	野口甚右衞門利吉	野口長兵衛朝祭	野々山七左衞門政高
四八九	四八九	四〇六		三九九				三九七	三九五	三九三	三九三	三九二	三九一	三九一	三八九

1 11 11

					名	卷之四										
山	山	山	山		臣		熊	入	桑	熊	倉	功	九	桑	畦	黑
		本	本	也	傳第	十八	谷	保	嶋	谷	地	力	鬼	山	田	柳
-4-	本	平		之	九		次郎	田			彦		四	次郎	半五	市郎
本		兵	圖	部			左	源	喜	藤	左衞	勘	郎兵	右	右衞	左
	宗	衞	書	1115			衞	藏	左	右	門	右	六衞	衞	THE PH	衞
		Œ	Œ				門幸	入	衞	衞	時	衞	廣	門売	正	門重
某	庵	國	春				中	壽	門	門	敎	門	隆	政	成	元
			同大郎五郎正令 同六右衞門良重													
四四九	四次九	四四七	四三九				四三七	四三五	四三四	三	四三三	四三三	四一六	四元	四三	四二二

											-					
松	松	松		矢	矢	ili	竅	薂	Ш	Ili	Ш	Ш	山	Ш	Ш	山
45	平	युद	未	野		野			助衍	Jil	中		下	H	H	H
內		長	之	JE.	部	井	儿		長	新	作	E 1	茂		作	八
滅	郎	ا.		龙	虎	/1	郎	元	儿	五右	右	彦	兵	所	兵	右
允	兵衞	郎	部	衞		惣	太	衞	郎	衞	衞)=	衙	左	Î î	衞
宣	御忠	忠		門清	之	兵	郎勝	門正	Œ	[PH]	門友	兵	IE.	衞	方	門正
助	重	脖	.Ł	秋	助	衞	nir IL	利	親	吉正	俊	衞	兼	門	厚	長
			المام ال			同可右衞門					篇之助信古附			同雄次郎久秋		
四八〇	四七六	四七三		四七〇	四六九	四六八	四六七	四六三	四六二	四六二	四五七	五五五	四五五五	五匹	五三	II.

= 1i.

的場九左衞門正勝	丸井三大夫吉重	。 牧 野 齋 宮	牧野五左衞門敷知	牧野次郎兵衞成義	牧野兵庫頭長虎	真鍋 五郎右衛門貞成	未之部下	名臣傳第十	卷之四十九	松下太郎助	松下助左衞門氏綱	間宮助左衞門盛忠	松平三郎大夫乘勝
源八包好及源四郎													
五 三 五	Ti. E py	五三四	/i.	/i.	<u>T</u>	四八八八				四八六六	四八五	四八	四八三

卷之五十

名臣傳第十一

不之部

後 後 近 藤 古 古 膝 膝 武 小 所品 归 施 膝 膝 間 古 津 H 田 膝 平 斓 作 角 太 JII 之 Ħî. 右 イi 次 助 助 郎 52. 行 角 兵 部 衞 衞 行 八 左 + 藏 衞 門良 [11] 衞 門重 兵 兵 衞 [1:3] 衞 光 實 用 衞 紹 衞 勝 勝 忠 藏 門 用尔 忠 門

二三七

H

金

右

二一一八九八七七六五五三

	4.	卷之														
	名臣傳第	卷之五十一	安	安	安	安	安		江	盐	塩	遠	遠	江		駒
安	停第	一	藤	藤	藤	藤	膝	安	Ш		谷	255	藤	馬	江	田
之	+ =		+	忠	千	飛		之	又	10		藤	兵	與		无.
部			左衛	兵	福	驒	帶				道	彥	右衛	右衛	之	左
ul)			門門	衞	丸	守	刀	部	作	長	泉		衞門	衞門	部	衞門
			直	E	義	直	直		忠		朝	大	E	秀		信
下			茂	綱	門	治	次	上	菊	悅	周	夫	次	次		勝
			同十左衞門昆慶													

天	[ii]	天	天	天	同	朝	朝	芦	芦	[ii]	同	[ji]	[ii]	泯	渥	朝
方						倉	倉)1]	川					美	美	日奈
四		野	野	野	新	.t.	勘	權	も	八	甚	太	源	源	源	惣
郎一	兵				- -	兵	解	大	 五 兵	右衞	孔	郎兵	Ti.	Tr.	Ti.	左
三郎	六	孫	左	政	郎	衞	HI	夫	特	門	郎	不循	郎	郎	郎	衞
通					正	景	元	Œ	公	正	月	友	Œ	IE.	朋筹	門泰
清	庫	七	近	久	憲	年	能	吉	吉	網	之	眞	明	勝	吉	倫
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0										0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				0		
			0	0 0 0 0 0 0 0						0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0						
		•		•	•		•	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			0 0 0 0			0 0 0 0	•	•
	•		•		•		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	0 0 0	0 0 0 0		•	•	
•		•	•	0	•	0	•	•	•				•	•		
	•	•		•	•	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	•		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	•		•	•	•	
	•			:	0 0	:	:	•	•	•	:	•	•	•	•	:
四〇	一三九	三八	一三六	三六	一三六		manufacture of the second of t		二九	二六	一九	一六			一0八	0

					名	卷之五										
佐	佐	佐	manusch march tressonite		名臣法	五	青	青	淺	有	淺	淺	栗	粟	栗	朝
野		野	田	佐	傳第	十二二	木	木		賀	井	井	生	生	生	
惣	野	市	Iri		士			鷲	川	喜	駒	九	源	源	吉	岡
左		郎	五	之			與	見	-6.	右	之	左	五	五	兵	11.7.
衞	隱	左衞	郎	部			Ħ.	右衞	次	衞		衞	左衞	左衞		助
門	17ET	門					兵	門	兵	門	助	門	門	門	衞	太
俊		吉	兵				六	邦		長	善	吉	利	重	茂	
廣	Ш	次	衞	上			衞	宗	衞	呂	成	入	壽	次	宅	夫
島原一揆覺書																
八三	六八	一大六	六				八二	大二	六	一 li. 儿	四月上	四八	加加	四三	[PG]	<u>P4</u>

寒	伦	伦	柳		皇
Л	藤	津川	原	佐	得第
7-1	太	, ,	忠	2	+
與	郎	藤右	次		12ml
助	兵	衞	郎	部	
直	衞	門			
	信	直	保		
景	元	1	定	下	

木	木	金	F. 2.	
梨		原	多村	幾
文			村	Ja
左	股	角	孫	2
衞		右	之丞	部
門			丞	
恒		衞	政	
德	某	門	清	
ニハニ	二八二	二八二	二七〇	

齎

藤

政

右

衞

門

延

11110

11110

二八

= Ti,

齋

藤

助

4.

郎

質

俊

佐

武

源

太

夫

廣命附

里

兒

勘

四

郎

枝

長

太

夫

三浦遠江守為隆	三浦長門守為時	三浦長門守為春	水野喜兵衞連成	水野平右衞門義重	水野左近太夫正重	水野大炊守忠幹	水野土佐守忠央	水野淡路守重良	水野對馬守重仲	美之部	名臣傳第十五	卷之五十四	由比與五右衞門安儀	由比庄左衞門宗政	油比甚太郎正吉	由之部
			喜兵衞重成 二													
三一七	三五	= 11	=	= 10	二九七	二九六	二九四	二九〇	二八七				二八五	二八四	二八三	

卷之五十五

美之

部

水	Ξ	=	ter de terret	123	宫				=				=
上	雲	倉權	倉左	崎 仁	Щ	井	井孫	宅	宅 與	上	浦文	浦	油權
善	九左	右衞	太右	左衞	金八	孫助	左衞	七	兵	-la	左衞	1111	116
=	在	門貞	衞門正	門泰	八政	高	門光	之	衞勝	玄	門正	勘	郎義
郎	門	Œ	則	春	久	清	Œ	助	清	蕃	芳	助	雄
					五助政信付								

. .

清	嶋	四	神	柴	芝	下	茂	茂	同	同	沚	滥			宫	=======================================
水		宫	野	田	田	條	野	野			谷	谷	之	嶋	tela	刀
吉	與	太	八	作	四	彌	惣	善	儀	八	文			+	地	谷
兵	市	郎	郎	左	郎	右	右	兵	平	右	右	伯	Z	右	六	監
衞	郎	左	兵	衞	兵	衞	衞門	衞	•	衞	衞	耆	部	衞	•	物
政	定	衞	衞忠	門法	衞正	門一	光	久	佳	門重	門重	重		門忠	太	孝
廣	茂	門	心泰	法	武	也	春	勝	成	重直	里次	信		心時	夫	和
)與	;	:	380	:	:	:	:	195	幽	ier.	:	111		; h:1	:	
																三刀谷伴藏付
三八二	三八一	三八〇	三七九	三七九	三七八	三七七	三七六	三七五	三七三	三七二	三七〇	三六		三六八	三六七	三二七
No. 10		()	九	儿	/\	t	11	11.	- 4	April 100	0	儿		/	L	-6

	柴	下	清
	山	村	
•	又		水
	右	大	新
	HII HII	夫	7[7]
	当當	吉	次
	柴山又右衙門當氏:	次	郎
		村三大夫吉次	
	三八八	三八八	三八二

卷之五十六 名臣傳第十七 之 部

毛	UJ.		久	久	平	平	华	彦	彦	彦	
利	月	毛	村	田	城	塚	岩	11-	坂	坂	
太	次	之			勘		助	坂	近郎	儿	
郎	左		-1:	孫	兵	久	右衛	長	左	兵	
右	衙門	消	左	左	衞	賀	衙門		循	衞	
衞	元		衞	衞	重	爲	近	次	門春	光	
門	次		門	門	近	景	吉	郎	光	Æ	
四〇				三九九	三九七	三九六	三九四	三九二	三九二	三九〇	

杉浦彌五左衞門重次角 岡 仁 左 衞 門	諏訪部 猪右衞門正勝	菅沼九兵衛定堅	菅沼华兵衛正勝	鈴木六兵衛重次	鈴 木 佐 兵 衞	鈴木十右衛門	鈴木九郎左衞門重康	鈴木四郎兵衞信吉	守之部	關平兵衛盛次	關根織部	世之部	門奈左近右衞門俊方	門奈彌左德門正次	森川九郎左衞門重政
四二大	四二五	pq _	Py	四九		四人	pq	рц		рч			M	[PU]	PM O

四二九

文學傳第一

Ш	깶	楠	316	吳	那。	那	那	永	[ii]	李	李	
井		原	川		>68.	波	波	H		衝	浜	価道
N/a	餘	艺	1.3.		波	木	道	道	易	774	榮	
	_	輔	泣	Πî.	加		圓	歷	齋	JI.	木	學
六	育	作	天			庬	活	蒋	澄	梅	.—	
鼎	海	洲	散	官	慶	守	所	源	JH.	溪	恕	
璞輔	尙濂	•		•	•	:	•	•		0 0 0		
@ 0 0	*			•			•			•		
0 0 0	8 8						:	•			•	
0 0	;							•			•	
*				:			•	•		•		
0 0 0	•						:	•			•	
0 0 0	•		•				•	•		•		
@ @ @							:	•			•	
e e e	•				•			•	•		•	
**	0 0		:				•		•	•	•	
	•				•	•	•	•	:	•	•	
***************************************	0 0		•			•	•				•	
	•	:	:	•	•	•				•	•	
四五	四四六	四四二	四四二	四四	四四四	四三九	四三六	四三四四	四三三	四三	四三〇	
-		- 0	Special	-	()	1		57	-			

太	井	宮	多	王	速	池	同	同	垣	垣	高	蔭	梅	眞	鳥	鳥	
田			田	屋	水	永	넴			內	瀨	山		部	居	居	
-1	口	瀨	成	喜右	仁右	淸	鼎		內	希	喜	源	田	qq	源	源	
= -	1.1.	45	允	衞	衞	四	輔	恂	mkr*	八	朴	七	<i>t.</i> 7.	璋	之	兵	
郎惟	仲	龍	暘	門	門	卵岩	熊		喜	東	學	東	仙	子	丞與	衞	
勤	虎	門	谷	海門	象之	就正	岳	齋	六	阜	山	門	庵	明	治	廣治	
30)	DE	13	T	1.1	~	مللہ	ш	凉	/	===	щ	1.3		רליו	门	111	
													中島見問事				
四六八	四六七	四六二	四六二	四六一	四六	四六一	四六〇	四六〇	四六〇	四六〇	四 Ti. 八	加大大	四五六六	M Ji. Ji.	四五三	PY Ti. =	

田 川 山 山 岡 菊 剪 宫 北 坂 竹 坂 木 同 伊 地 中 本 本 所 村 井 內 谷 地 f'l HH 角 海 言 爲 井 彌 源 H 源 右 內 4 太 英 才 - | -之 之 Fi. 丈 茂 藏 衞 藏 記 -स्मा 郎 郎 周 進 郎 進 信 亦 阳 平 海 兵 清 温 衝 子 湖 惟 雄 鳳 惟 阳 皐 恭 威 衞 洲 2 道 英 衡 孝 恭 压 水 梧 嶠 崛 四七八 四八二 [74] py 74

七四

4

[71]

t

四

七二

七

四九

							文	卷之五十八							
有	山	宇	酒	竹	板		學庙	五	森	渡	齋	遠	遠	仁	仁
馬		治		田	坂	醫	文學傳第一	八			藤	藤	藤	井四	井田
涼	村	田	井	慶	1				田	邊	Dek-	忠	勝	田源	田模
		H				學					海			<i>₩</i>	
及	通	雲	=	安	齋	•			節	魯	藏	介	助	郎	郞
元				定	如						加以	泰	泰	長	好
凾	菴	庵	伯	賢	春				齋	輔	蠡	道	通	群	古
玄哲存庵															長群
li.	<u> </u>	<u>Ii.</u>	八八	IL TL	につれ				7i. () Ti.	五. 〇三	四九八	四九六	四九四	四九二	四八七

四八四

崖

權

兵

衞

熊

野

								松	華	鰕	MI j	E	若	郭	田	長
本	濱	佐	松	祇	石	德	膝]1]					井
草	田	武	原	闡	橋	田	並	村	岡		撿	Ш	林	7.5	原	113 113
學								養	隨	叉	校	灝	養	延		安
	道	才	保	壽	順	松	大	Je	TABLE .		富	UNCE	JR			孝
	迪	庬	道	齋	菴	軒	Est.	全	賢	玄	都	齎	元	雪	安	非
	0 0		0 0	•	•	0 0 0		•	0 0 0	•	支	•		:	•	四四 京 部 左左
						4 4 4	•		•						•	衞衙門門
				•				•					•			万優年湿
	•			•	•		0	•		•	•	•	0 0			平助球
	•	•	•	0 0 0	0 0 0 0 0			0 0	•	•	0 0	•	•		•	卿
	•	•		0 0 0	***	•	•	•	0	•	•	•	•			
	•	•	•	•	0 0	•	•			•						
			•	•	•	•										
	•				•	•		•								
				•	•		•	•			0 0 0	•			•	
	•		•					•	•	•	0 0	0 0	•	0 0 0 0	•	0 0
	· ·	; 	;	:		75	:	: H.	:	: #	; ;	; 5	:	:	; H	; 7î
	五四四四	79	五四四四	五四四四	pg	四四	五四三		五五五	五三四四	五三	五三	11 = C	五二九	五二九	五三四

监	山	高	山		能	小	富	加	長	本					小	丹
	本		田	書		中		納	澤	居	古	坂	上	山	原	
川	忠	澤	傳		代	村	樫						辻	中	八	羽
	右		大	patro .		將		兵	衞	中	PFI	本	邦	篤	Ξ	
信	衙門	源	夫	家	繁	曹	廣	部	門	衞	學	浩	彥	之助	郎	Œ
	惟		吉			清		諸	友	宣		111	伯	信	良	
濃	命	八	近		里	矩	蔭	平	雄	長		雪	英	古	直	伯
	忠右衞門昌孝									爾四郎內遠 三四右衞門大平						
五七六	化	七十八	五七三		五七二二	化一	11.七	五六九	九六一	Ti.		Ti.	II.	压工	Ti. Ti.	Ti. Py Ti.

10	A 8 a	450		L Set	武	卷之五十	6.82	4ds.	74	112	123		111	tort	.10	a.f.a
	宇			緒	術傳第	土	荒	早早	思	們	111	11	li	[前]	th	女
爪	佐	佐美	兵		第	九	木									
万右	美	光造										出	崎	田	村	當
衞	伦	酒	法				Ш	天		益	門					
門	助	介	100				December 1					IM	子	Œ	蘭	幸
維	定	勝					-									
成	茄	興		言			郎	書	範	之	巖	賦	in.	義	鄉	隆
	號竹陰															
九四四	五八九	五八七		五八一			五七九	五七八	五七七	五七七	五七七	五七七	五七七七	五七六	五七六	五七六

大	松		某	蘆	野	有	和	和	同同	葛	星	長	吉	吉		名
林	野	馬		Jil	呂		佐			西	野	屋	見	見	弓	取
	#]				助力	本			園源 右五	喜	#4.	六ナ	臺	喜		
內	惣	術		良	左衞		大	石織	布左	兵	勘	左衞	右衞	左衞	術	-1-
右	. 1.	THE STATE		助	門	佐	八	門門	問問門	衞	左	門門	門門	門	144	郎
衞	太			備	Œ		範	實	引弘友	友	衞	忠	經	經		正
門	郎			助	祥	助	遠		武明		門	重	武	孝		澄
					附太田信吉											
	六三三		ホニニ	*=-	六一八	六一八	六四四	六 二	<u>*</u>	六()九	Si Ci	六〇七	六 〇 一	LE 九 七		li. Ji.

	41	岩	石	水	大	大	大	大	大	樫		13	赤	SIE	同第	桑	井	
	山	11								原	~^	H	尾		井	島	出	
		田	野	S	島	島		E.	E.	Hi.	鎗		右	井		次	华	
	Ti.		傳	見	雲	以	件	雲	雪	郎		藤	ALS.	膝	老老右右	郎	之	
	太	七		譽	Hi.	心	六	平	平	左衞	循	太	之	助	衛衞	兵	行	
	夫	兵	IT		郎					門門		郎	助		門門	衞	衙門	
	利		氏		典	典	守	113	吉	俊		定	政	喬	真明	贞	Æ	
	昭	衞	利	之	通	朗	Œ	久	綱	重		保	吉	富	清貞	好	則	
五五		後道節															学方に	
	六五三	六五三	六五二	六五	六四	六四〇	六三六	六三六	六三三	六三二		六三一	六三〇	六二九	六二五	六二五	六二四	

六五六

六石五

第七册 自卷之六十至卷之六十九

葛

西三左衞

門

友

成

妹

尾

宇

平

次

邦

昌

三宅郷右衞門

武術傳第二

西	岡	म	津	津	田	田	田	田	
尾	本	曾沼	田善善	田善善	宮次	宮	宮平	宮	劍
新	4	庄左		右衞	郎右	常	乒	常	徘
左	华	衞	郎	門門	衞	快	衞	圓	Mr
衞		門忠	忠	当	門成	朝	長	長	
門	平	儀	易	重	道	成	家	勝	

- - - -

有

馬

豐

前

滿

秋

Ii.

74

四四

關口彌六右衞門氏心	柔術	武術傳第二	卷之六十一	橘 內 藏 介	井藤平右衛門忠雄	西鄉市郎左衞門	古川源之助	佐々木源大夫真要	佐々木五郎右衛門雕賴	南 部 平 兵 衞	金田源五郎定永	根來伊不次	小夫沒右衙門助永	西脇勘左衞門猛正	木村助九郎友重	竹森傳次右衞門次忠	
												根來獨心齊					

六 六 五 五 五 五 五 五 三 三 三

駒木根八兵衛政際	勝野平左衛門吉里	杉本	津田四郎右衞門正信	砲	池端善作成	茂田十右衞門目	秦武	田織右衞	吉田次郎左衞門	太井武	嶋田幸左衞明	佐治彌左衞門美世	佐治彌右衛門重見	關口彌太郎氏曉	關口万右衞門氏世	關口八郎左衞門氏
澄	里	坊			美			門	FI		門	英	晟	題		業
	·····································	八九	八五		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·	::::	七九	七九	:::	::七八	: : : 七六	: ::			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·

正八

	鷲	長	闸	यह	小	佐	藤	新	當	林	吉	宇	磯	胸	胸	局
水	家	谷川	條小	井市	野	々木	岡傳	安	[出]		川源	治田	野	木根	木根	水根
. 11.0		為	11	郎石	和	浦右	元	右	彦	左	Hi.	pil .	樂	义	門	武
数	源	之派	衙門	衙門	助勝	衞門	衙門	衙門	石箱	太	兵衞一	兵衛士	右衛	市	大夫一	衙門
		尚	武	尚		成	長业	古		_£.	IE -	友		興	E	TE TE
	次	誠	滿	良	明	季	光	延	門	夫	次	成	門	良	武	重

										-1	卷					
野	森	桑	野	青	岩	並	狩	狩		方技傳	卷之六十二	小	多	名	川	岩
際		山	呂		井	河		野	畵	得第	7	池	田	井	上	倉
蔡		左	九	木	泉	甫	野	與				水右	善	仙	傳	鄉
	月								家			衞	之	兵	之	
微		內		夙	流	雲	與	甫				門	助	衞	丞	助
載		嗣	郎		久	利		與				房	安	重	直	重
長	航	燦	隆	夜	宗	孝	益	之				長	賀	勝	信	昌
養子蔡眞		同茂平治大圭	介石													
li.	Ji. ∃	五五二	一四七	一四六	ry Ji.	79 194		四三				<u>рч</u>	三三八	一三六	三五	1 11111

開 岩 田 佐 佐 願坂原堀山商埜笹 方 立 口井代渡 渡瀨名訪本 瀬川 端本 彦 昇 遊 椽 椽 祭 大 鶩 右 維 游 氏 養 晴 興 僧 Œ 衞 某 春 原 PH 章 泉 徒 月 春 信 吉 七 助 湖 然 野 和 男貫義 五七 五七 五七

五七

Ji. 七

Ti.

五六

五六

五六

五六

五六

五六

五六

Ti.

加四

Ъ. Лі.

袋屋		王	太田道	東宮意	歌人	和歌俳諧	森		川上宗	-	岡山又右衞	梅本圓	-1-0	茶道	宇治田平左衞門忠	有職家
榮	哲	道	知	看			水	郁	雪	章	門	齋	岑		鄉	
七二	一七二	七一七一	一六九	六九			一六八	一六七	六五	六四	六四	六四	五八		一五七	

	考		倉桃	田	諧	品川玄	村	歌	上	村	子	殿	村	僧雕		岩瀬吉郎大
		莽	菴	宜		湖	敬		房	IE		子	敎	言	順	夫
大谷悟友						泥田坊事										
<u> </u>	一八二	一八二	ースニ	八一八		八〇	八〇		一七九	一七八	一七六	一七三	一七三	一七三	一七三	一七三

彈琴	伊藤茂右衞	鈴木源太	葛 野 九 郎 兵	松井市兵衞忠	謠曲	盲人	象棋	外山第	三之	密文	中新之	本 因 坊 道	圍	圍非象棋	田淵常佐久第	園女
	門	郎	衞	之		某		節	助		丞	悅			英	
															木谷庵事	
	一九七	一九六	九五五	九四		一九三		一九三	一九三	九三	九一	カ			一八九	一八七

横	岡	小	た		庄		岩	森		文		伊		方技	卷之六十三	俼
井	井	rate IT.	7: 84	彫	7 4 4	游	井		甲	珠	刀	丹	弓	方技傳第二	子三	***
孫九	勇 次	原	甚		太	繪	源	H	T	四		Æ				द्रिय
郎	郎	_	五.	I		唐币	兵	彌	節	郎	I	左衞	1.			
時良	軌麗	齋	郎		夫		衞	助		重		門				真
6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0												木村左內				
三五		三四四	= -		= 10			= 10		二〇六		11011				一九八

獅	蓮	入	吉		松		駿		大	加	角		茶		上	金	
	井	江		力		籠	河		Т	藤	井	匠	屋	吳	田		
子	象		田			組	屋	子					小	服	忠	原	
		+		士	五	師	善右	師	太		右	工	即郎	師	左	- Ja	
Z	助	兵	追				石衞		郎	衞	衞		arla		衞	直	
助	鬼勝	衞	風		郎		門門		作	門	門		流清		門	道	
		犀之助事	行事司												又右衞門十藏	同一雙 常親	
	100 mm m m m m m m m m m m m m m m m m m	1111111	1		二二九		二三九		三八	二二七	二二七		二七		二二六	二五	

								平	八	石	卷					鏡
若	若	小	仙	熊	楯	白	北					相	矢	荒	荒	ılı
,	竹	相	ケ	ケ	ケ	浪	國	井	角	槌	尾	引	島	砂	礒	沖
	7.7	引	崎	嶽	崎			===	JIT.	11	61.	森	沖	119	件奖	
浦	孫		龜	岩	浪	灘	官	重	楯	島	帥	布右	右	長	浦	之
藤	太	森上	右	右	120	之	太	五.	之	之	之			太	之	右
		之	衞	衞							12 L	衞	衞			衞
-1:	郎	助	門	門	助	助	夫	郎	助	助	助	門	門	夫	助	門
										自山寨三原事						
三五四	五五三	二五三	五五三	五五三	五五三	三五三	三五三		<i>∓ ™</i> ○		二四六					

			用		司法					H	Links	מבונד			手	inst.
霞	嵐	碇	木	國	藤	杉	風	川		川三	柳	碇	山	霞	洗	國
岸	勝	瀧	無治	梶	竹	=	若	鹿	九	三太	龍	灘	利	峯	有	鷲
之	Ξ	之	右	之	右衞	太	之	之	太	左	右衞	右衞	太	之	右衞	右衞
助	郎	助	衙門	助	門	夫	助	助	夫	衞門	制門	門	夫	助	制門	門
Ji. Ji.	fi.	江四	二元四	Ti.	元四四	五五四四	二加四	正四四	二 fi. [四	工证	三近四	二元四	五九,四	二正四	Ti.	五班四

薄若金御雨山大谷湊巴今小大立薄御三

它	擬	畸	山	松	丸	小	唐	北	和	秋	十	稻	掛	生	山	-
5**	SIA	Mbl	藤	山	т ле	野	竹	國	歌	津	五	妻	橋	田	下	ツ
II.	僕		谷	左	權太	川	茂	虎	浦	嶋 波	夜	村	木曾	川	風綠	松
禄	茂	漢		Hi.	左	-1:	治			右			日右	杢	私右	华
78.00			之	之	衞	之	之	之	膝	衞	孫	之	衞	之	衞	太
助	助		助	丞	門	助	介	助	七	門	市	助	門	助	門	夫
六之助																
三五七	二五六		五五五	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五	五五五	三五五	五五五	五五五五	五五五	五五五	五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五	五五五

		华												Æ.		
-km	俊	卷之六十	ш	4	trt.	<u> </u>		-1.	∓ n	I n	/TI	ffe	俊傑	卷之六		
栖原	俊傑傳第	尘	田	大	Ш	三井	三井	木	和田田	和田田	伊	角屋	深 傳 第	八十四	穢	乞
炉	第二	五.	中	畑	村	八	則	村	總	忠	藤	七	第一	四		
			.,	才	4.1	郎	兵	八	右	心兵	孫	郎			多	丐
不衞			善	藏	瑞	兵	へ 衞	郎	衞	八衞	右	次			助	
茂			123	勝	7111	衞	高	大	門賴	賴	衞	郎秀			四	源
俊			吉	善	軒	高利	俊	夫	积治	元	門	芳			郎	吉
:			:	:	:		:	:		:	:				:	1-1
•			*					•			•	角屋七郎兵衞				•
			*	•	•	•		•	•			兵衞				
•			***************************************		•	:		:	•	•	•	•			•	
•			•	•	•		•		•	•					•	•
			•	•		•		•								•
:			*	•	•	•		•	•	•	•	•			•	
•			•	:	•		•	•	•		•	•			•	•
•					•			:	•			•			•	0 0 0 0
•					•	•	•		•		•				•	
			** ** **	•	•	•	6 6 6	•	•	:	•	•			•	
			6 6 6	:	•	•	0 0 0	•	•	•	•	•			•	•
•			9 0 0		:		•	•	•		•	•			•	
:			*	:	:				:	:	•					
四九			三四七	hril ==	三三四	三七七	三二七	三二六	= -	三五元	=======================================	二六三			六	二六一

	濱	1 3	鈴	调	伊	:1:	紀	米	J.i	石
名迫伊	口	村長	木七	田	藤	井八	伊國	山多	谷	迎
光に		左	右	莊		郎	居	右	新	100
谷新	儀	衞	衞	右	五	兵	文	衞	右	伊
右衛門の	兵	門成	門重	衞	太	衞宗	左衞	門宗	衞	1)*
二名	衞	近	秋	門	夫	壽	門	隆	門	光
は高野寺領の者にて治外の人を雖も共に万以い為ソ黎中で						宗 本		多右衞門宗持		次郎右衞門行雄

三九二

三九四

卷之六十六

か實に絕世の俊傑也齊しく國内の人にして之を知る者稀なり是か傳記豈に遂すへけんや

四 一 ()

四〇八

四〇三

三九八

孝子傳第一 緒 何 闸 紀 紀 忠、 忠孝界傳葉志 孝 界 傳 題言 文 言 四一八 四一八 四七

そ久玄は奈助又長與奈權 彌 金角六源 忠 孝 郎 四次 三兵太右三 傳 衞 附 庞厚津 郎志津七郎衞 郎 郎 夫 門 郎 丼妻 四三〇 四二八 四二八

セニ

勘甚傳仙幾重清古奈佐太沉清勘久源三

右左 左 ? 郎 五四太 太兵 衞衞 衞は 兵 名 津 屋 郎 郎 夫 郎 衞 卼

七三

四三九

四三九

四三八

四三八

四三八

四三七

長千善甚加傳喜彥半喜俊乙由太邓喜甚

				藤		平 次 勘	兵	兵	<i>Ŧ</i> i.	起吉	右		兵	右
1	代	古 文吉	助	仙 全か	吉	平	衞	衞 兄弟四人		河	門	M	衞	門 并甚七

PH IL ()

pq

Ji.

加加

四四九

四四七

四四六六

四四六

四四六六

四四四月

四四四五正

py py

加加三

四五二

加加

一七四

四四三

平 伊 吉 甚 次 源 黑 仙 ふ 幾 善 伊 廖 平 波 九 瀨

五 九 py py 正三 丘四 江四

勘幾半市常幾登兵長平屋伊源庄傳龜源

太太之

右四 三

郎 夫 助 須 郎 井妹 四六三 四六二 四六二 四六四 四六四 四六三 四六二 四六一 四六〇 四六〇

七六

伊勘善長幸勘孫源吉傳次文久萬小嘉安

九 三 兵 兵四兵

兵

野	郎	1	郎	作	衞 弁妻	助		衞	QK	衛	II)	藏		傳		(額)
四七	四七〇	四七〇	四七〇	四六九	四六九	四六九	四六八	四六八	四六七	四六七	四六七	四六六	四六六	四六六	四六五	四六五

矢 倉 助	大	惣		喜	吉		清		ŧ	7700	孝子傳第二	卷之六十七	屠戶小	平四	盖	角左衛	
作	藏	衞	1	次	藏	衞	衞	郎	3	吉			菊	郎	七	門	
															in the second se		七八八
四八二	八一	四八一	四七九	四七八	四七七	四七六	四七五五	四七五	四七四	四七三			四七二	四七二	四七一	四七一	

奥石楠ま志藤源善善ふよて常よ伊す伊善新

非 右

次

賀

兵

左衞

1	郎	辨	門	2	吉	次次	濺	助	U	2	松藏	L	衞	T	平	古	吉
		•	•	•	•		•	•	•			•		•		•	•
		•	•	•	•		:	•	:	•		0 0	•		•		•
		•		•	•	•				•		•	•		•	•	•
					•	•	•						•	•	•	•	•
			•	•	0												
	•			0										0		•	
						•	0		•	•				0		0	•
	•				•	•						•	•			•	•
	•	•		•	•	•		•		•		:			•		
		•	•	•	•	•	•	•		•					•	•	
			•	•	0	•	•	•		•							
	•	•		•	•	0	0 0	•						•		•	•
	•	•	•	•	•	•	•	•						•	•	•	•
	:	:	:	•	•	•						:		0	:	:	
	五〇五	H.O	五〇四	五〇二	H i	四九九九	四九八	四九七	四九五	九九五	四九三	四九一	四八八八	四八七	四八六	四八四	四八三
	11.	四	四四	-	_	・ル	/\	74	11.	.11	-			L	/\	14	

七九

善為國き久利常さ嘉傳た熊常小十長ま善

右

兵

兵 之

次 太

衞

助 助衞 丞 藏 傳 助 郎 衞 和 郎 h 五八八 五八八 五五五 *Ii.* = 五一 五〇九 五〇八 五〇七 Ti O Ti 五二四 五六 五一四 五 二 五〇六

八〇

利は簡助者秀惣末次定友ゆま瑠や左傳座か

吉	る松木	公松	八	七	松	平	吉	助	3	5	平	3	七	郎	吉	3	
:	:	:	:	:		:	:		:		:	:	:	:			
													•				
	•				•	:				•	:		:	:			
•	•		•	•		•		•			•	•			•		
•		0 0	•		•	•	•		•	:	•	•	•	•	•		
0					•	•	•	•	•	•			•		•	•	
	•	•			•	0			*	•				•			
		•	0 0		•	0			0	•	•					•	
e e e		0	0 0	•		0 0			0 0	0			•		•		
	•	0 0			•	•	•	•		0 0		•	•			•	
0 0		:		•	•	0				0					•	•	
0		•			•								•	•			
•	•		•		•		•	•	•	•		•	•	•	•		
•	•	•				•		•		:	•	•	•				
	•	:	:	:	:	:	:		•	:	:	•	•	•	:		
五四二二	五.	五四四	五四四一	五三九	五三八	五三七	五三六	五三六	五三四	五三三	五三三	五三二	五三	五三〇	五二九	五二八	
	→ +	1-3		九	八	t	六	六	24	Ξ	=	-	-	0	九	1	

老老老本赤岡老老老朝同工 松黑 尾 田 女女女居右本女女女倉藤 山 馬 3 芳 之嶋谷勝 瀧 波 藤 松了 田 助 野村山村女子子 川 尾 江 子 妻 女 光

五七一 五五九 五六七 五四六 正元 Ti Ti. Ti. Ti. Ti Ti. Ii. () Ti. Ti. 1i. 五二 Ti. 五 174

													Ba	卷		
日	日	日	專	應	日	日	夹	日	日	信	引	例	高僧傳	卷之六十	森	長
禪	存	護			[<u>11</u>	遠	山	易	玄	譽	用		第一	九	H	尾
															無	初
上	上	上			上	上	和	上	上	上	書				弦 女	智
人	人	人	公	昌	人	人	尙	人	人	人	目	膏			史	女
							附大洞和尚		附 日方	存的 順 東 郭 翁						
大〇二	六0一	六00	六00	**	五九九九	五九七	Ti.	五九九五	Ti. 九 Ti.	九九一	九八〇	Ti.九〇			五八七	五八〇

桂蓮潭智法圓梅日淵惠日南日日玄道觀 岩心光 通寒忠 順 利廣恕榮 禪法上 禪上上 上 法上上法 師人人澄空人芝師 師人幢霖 尼 人人師 六〇六 六 六 六 六 六 〇 〇 〇 〇 〇 九 八 八 七 六〇五 六 () 六

第八册

職制第一

職

籍

南龍院樣御入國御供姓名錄

自您之七十至卷之七十七

一八五

本 德 整 整 空 举 上 芳 和 尚 六六九 六六七 六三二

釋是本德

上上上上上

六二一

六二三

六三〇

六三〇

即

厭

圓

應

修理大夫樣御附屬	轉心院樣御附屬	政所樣御附屬	御役順に無之御役面々	御老中初め總御役人名	御家中官錄人名帳 文化七年	職	職制第二	卷之七十二	役名唱替 ····································	御役順	天明年間御儀式		職	職制第二	卷之七十一	權現樣より御附人姓名	
																	7
三八九	三〇七	三八	二六四	一八八八	一八七				一六九	一〇七	九九	九六				八八	

卷之七十三

職制第四

職

籍

m

三四四

..... 111111

1111111

111111

11110

御	御	寺	大	御	松	大	高	大	御	御	御手	1
供	船片	社		勘	坂	御					帳御	•
来	奉	表		定	御	番		寄	城	年	家中	
TH	NA.	de		奉	城	411					姓	
頭	行	行	組	行	代	頭	家	合	代	寄	名錄	
			無足にて大組同樣勤			同格			同格			

三八

三八

三一六

三五五

三九

11110

110

三九

												•					
留守居番	,.,	十人	城	普請支	手筒	手弓	廣敷御用	鷹匠	御番	ケ島奉	奉	小姓	用	小姓組番	書院番	條御家	•
頭	行	頭	附	配	頭	頭	人	頭	頭	行	行	頭	人	頭	頭	老	
		同格			同格				同格					同格	同持格		
11111111		三二九	三二九	三二九	三二八	三八	三二七	三二七	三二六	三六	三二六	三二六		11111111	600 0 600 0 600 0 600 0 600 0	TOTAL STREET	

御勢小御小御御御新友町御御御西

八八八

御勘定吟味	寄合組	御使	御目	御徒	五十人 紅之	御納万	御本丸番之	御天守番之	山家同心	本町御門番之	御先手物	御持筒	御持弓	根來	御爺春	御旗奉
役	頭	番	付	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	頭	行	行
同格				同格		同格										
	三四二	四	三四〇	三三七	三三六	三五元	三五	三五	三三五	三五	minim	111111111111111111111111111111111111111	111111111111111111111111111111111111111	nini.	1111111	1111111

御留守居番	御天守常番	新御番持格	大納戶	元方御金奉行	御膳奉行	御具足奉行	御腰物奉行	自子 御 目 付	友ヶ島御目付	奥 御 右 筆	御書院番格	御小姓組頭	小普請組頭持格	表御右筆組頭	中奥御番	御弓役
同持格		同格			同特格					同詰所認物勤					同特格	
三六六	三六六	三六五	三六五	三六五	三六四	7	八二	三六三	三六三	三六三	三六二	三六二	三六二		三六〇	三六〇

御小	御	小	小上	御	御		御	御	此	御	御	御	表	寄	大	拂
姓		+	十人			分	小	大	間小	道	勘		独	合	御	方
目	納		御普	馬	馬	口			+	具	定	代	御	御	番	御
付如		人	請			奉	人	I.	人組	支	組		右	醫	持	金奉
組頭	戶	格	持格	方	預	行	頭	頭	頭よ	配	頭	官	筆	師	格	行
同格	同持格								り御廣敷番迄缺箞	同持格			同認物勤		大御番格小驺請持格	
三七六	三七六	三七五	三七四	三七四	三七三	三七三	三七二	三十三		三七二	三七二	三七二	三七一	三七一	三六九	三六九

御	御 小 姓 同	御 供 番 組頭共	御手帳御家中姓名錄下	職籍工	職制第五	卷之七十四	小十人格地士	小十人小普請格地士	獨 禮 格 地 士	御同朋見習格坊主	增 硝 奉 行	格式有之地士上席	御	頭役已下御日見已上末々地士	御船	御徒目付 組 頭 同格
三八七	三八四	三八二					八一	三八〇	三八〇	三八〇	三八〇	三七九	三七七		三七七	三七七

小十人小普請	小普請御醫師	同末席	獨禮小普請	大御番格小普請	小当請組頭	江戶總小普請	刑小普請	同末席	小十人小普請	小普請 御醫 師	同末席	獨禮小普請	大御番格小普請	寄合格小普請	小普請組頭	若山總小普請
	рч		PH	РЧ	P. G. C.		P4	PH	PY	Pu	TU		[II]			
-F.	0-1:	0	Q-t-	O Ji.	O E		O	O Ji	0	()	00	三九九	三九八	三九八	三九八	

	御犬牽	粉川住餌差	粉川住砂丸御塒附同	餌差	御鷹匠同心	無足御鷹方見習	御鷹方勤	御鷹匠	御鷹匠組頭	匠頭初御	同末席	以下小普二請	以下小普請組頭	江戶若山以下小普	小	京席
組頭共			Ň	組頭共	和頭共											
四二〇	010	四二〇		四九	四一八	四一八	四一七	四一七	四七		四一六	四〇八	四〇八		四〇七	四〇七

	年寄衆の内若輩なる方へ御	南龍公御教示 …	職	職制第六	卷之七十五	御役者にて公送	無	作り物	物	地	品	後	仕手	狂	太	大	小
	るる士					御田	足	飾	着	謠	連	見	連	言	鼓	鼓	鼓
一九七	カへ御示					公儀御用をも勤候者											
	四三七	四三七				四三五	四三四四	四三四	四三四	四三四	四三三	四三三	四三三	四三三	四三三	四三二	四三二

大 御 番 頭	御側御用人	御	坊主陸尺	御川部屋書役	與御右筆 圖組頭	加 判 之 列	御年寄嫡子	諸大夫御年寄	第 之間 請	御家老家柄	御 年 寄	職掌解說 一	寛政以後職務に關する布告	有德公御訓諭	御近弯の者共御用達申者共へ被仰聞條々	頭役へ御示	
		四六八	四六八	四六七	114	1111 大一	17 TO	門在人		PU IL	py fi.		四月	pul pul IL	PU PU	pul pul	

i	専	江戶御金奉行	细普請奉行 始二十六役	與熊野御目付	御 代 官	御作事奉行	支配勘定	支配勘定組頭	御 勘 定 同見習	御勘定組頭	御楊定吟味役	御勘定奉行	評 定 所	大善請奉行	大 目 付	附田邊與力	大 御 番 紅頭	
一九九				7	Inta		79	/ <u>1</u>	P4	Pu	py		Pu	pu	7772	7713	PU	
	Ti. 0	H. ()	Ti.	II. O	四九九九	四九八	九六		九五	九五五	九四	九二	九一	四八九	四八八	四八四	七三	

御廣敷御川人	新御番頭	友ヶ嶋役職制	友ヶ島奉行一	町奉行	職掌解說 二	職制第七	卷之七十六	御小姓山付	御小姓目付組頭	御小姓頭 ::	表御川部屋吟味	表御石筆組頭	表御用部屋書役	表御石筆組頭	御用人表御用	御小姓組
	同鄉番		屬官	書役 同心				同心			功主	道	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	日記方		
五三八	五三七	五三	五三〇	Ti.				Ji.	五二九	五二九	五二七	五二六	五三三	五二	五一六	H.

刑小普請	以下小普請	小十人小普請	小普請御醫師	獨禮小当請	大御番格小普請	小普請方認物動	以下小普請紀頭	同組頭	小普請支配:	御廣敷坊主	御錠口番	伊賀	同書役	同進上番	御廣敷番	御廣敷御用達 :
Ti.	同末席 4	fi.	Ti.	同末席	Tr.	fi.		71			Ti	Ti.	The last of the la	fi.	同添番	fi.
194 E	四七	古七	内以	PU	I'uj	14 11.	1/4	py	174	1/4	py =	įų —	PJ -	py	1/4	hri

	御小人目付	御目付方書役	御徒押	御徒目付	御徒目付組頭 ····································	御 目 付	御 徒	御徒組頭	御 徒 頭	五十人組之頭	職掌解説 三	職制第八	卷之七十七	御 小 納 戶 御膳番	御 小 姓	奥 之 番	御小納戶頭取	
	4711	*************************************	***************************************	**************************************	**************************************		六一四	***	* 11					五七六	五七六 元七六	IL XX		

									剃	中	th	寄	御			
卻	撿	卻	卻	11	卻	寄	奥	御		tána				諸	御	御
	校	數	[ii]	普請	番	合御	御		髮	與	與御	合	使	御	表	小
繪	勾	寄		御		御		匙		御	小	組			火	
		屋	朋	御際	門	腾	腎		職	番	姓	頭	番	目	之	人
師	H	MI	頭	filli	師	師	師	图	٠			the.		付	番	押
	:	:	:	:			:	:	•	•	•	符合			:	:
0 III 0	:		•	*	•		*					*	•			
			:	* *			:		•		:					
	•.			•		*		:	•	:					9	
:	•			•		•			•	•		•		:		•
	•	a a			8		* *		:	•				•	•	
			:		*					:					*	
•	•	•	:	•	*			:		•	:		:		0 0 0	
•	•	•					*		:	•	•				*	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			:	•	0 0 0			:	•		•	*	:			*
		•		•					:				:			
•	;			:	:				•			:	•	:		
:			:	•				:	:	•		:		•		
			:						:					•		
•				:							•			:		
	•	:		:	:		•				•			•		
:	:						:		:		•		•	•		
	:	:								•	:		:			
												:	0	:		
			•								•		•			
	•		•			•	6 6 6				:					
•	•	:	•			:		:					:	•		:
八三二十	11117	六三一	六三一	六三〇	六三〇	六三〇	六三〇	六二八	六二八	六二七	六二七	六二六	六二五	六二四	六二三	六二三
diverse annual annual	-	-	_	Ó	0	0	0	八	八	ti	七	六	H.	py	=	=

新宮與力・	御厩之者	御厩目付	馬	御馬乘	御馬方	御 馬 預 .	御駕之者	御駕頭	御小人	御小人頭:	御賄人組頭	御臺所吟味役	御臺所目付	御臺所頭:	剃髮職廢止:	總坊主
次四九		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			THE PARTY OF THE P					N			見廻り役翁帶	**************************************		
九	六四八	六四八	六四八	六四七	七七	六四六	六四六	六四六	五	24	六四〇	0	六三九	六三八	六三六	7

諸手代坊主同心等人數 諸 穴 平御中問眼出 御 總 山家同心山緒 江戶御中間方改革 里之者 組 同心廢止 太 飛 [ii] 心 役 脚

堂

形

田

邊

與

力

若山江戶中間

若山御仲間頭

江戶御中間頭

六 Li

六 江

六 折.

六五二

六瓜三

第	,
九	á
册	
自卷之七十八至卷之八十八	

六九五

六九四

六八六

六八一

六七六

六七六

六七〇

六七三

六五九

御 松 自松自田自田 常 坂子丸子丸 勢 佐 田 松 松 勢 山 役 順 丸 坂子丸御 坂 五. 州 坂 州 家 1-御 + Ti. 御 鳥 御 不 材 町 御 御 1 简 船 載 目 木 间 組 奉 見 目 城 奉 代 所 分 末 奉 之 組頭 行 付 行 心 番 否 官 付 頭 行 行 共

勢 州 役 四

松

坂

御

城

10

二〇八

雑例	山口御殿番	盗 贼 改 方	稽古料被下	山方勤	麵町 御殿勤 番	御友之間御廊下詰	衣紋	御庭奉行	御取次	願御供勤	常御供方	奥御供方	御役者肝煎	見上け御藏預	御書物方勤	御書物方頭取
		10		九	九	九	五	- TA		無足地廻り番外御供 一三			御役者 一〇		同認物的	九

於江戶銃隊編成	御役順幷御役々廢	大奥改革女中御	女中行作	女中勤方大	女中人數定	女中御切米御扶	女中席順	女中職	勝手難澁御役御免	八十歲隱	病氣宿御番 御免	辭令書式	御直命	拜 命 席	任命順序	任命式
陸軍奉行並三兵隊長	止	瞑		畧		扶持方等			願	居	願					
fi.	pg	四八	四道	PY =:	lul —		二九	二八	二八	二六	二六	=	1111	1 1 1 1		<u>→</u>

一	萬歲丸別細書	御	御船 數	御臺所諸極下	職制附屬一二	卷之八十	御臺所諸極上	紀伊中納言樣御琴向御献立清書	南龍院樣へ獻上御料理献立 ····································	職制財鉄	卷之七十 九	家 介 所 數 件	職制職表初改革布告數件	職 制 人 改 革 維新後	御軍艦奉行新置初諸布達	於若山諸役廢止
二六七	二六二	二五二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	五五二	九四			0,1	0=	0			九三	七〇	六九	六五	六五

熊 野 衆	寺	新	諸 職 人	御相撲取	雜 調 帳 承前	元和御切米帳終身錄 下 三	祿 制 第 二	卷之八十三	元和御切米帳終身錄 上 三	禄 制 第 二	卷之八十二	元和五年御切米帳摸 二	稽	祿 制 第 一	卷之八十一	御船歌	
三八四	三八〇	三七九	三七六	三七一	三七一	三七一			111111111111111111111111111111111111111			二九一	二八八			二六八	

卷之
八
- -
14

役之向被下	御役料	役	行目	死 不 足	免合浮置	知行免合差別	跡目割替之法	知行割	今 高 免 極	諸士知行	祿制凡例	祿伽第四	卷之八十四
付伺													
四七七	四七四	四七一	四七〇	四六八	四四	四三六	四三四	四二九	四二八	四二七	四二四		

御家中諸渡り物帳	卷 之八十五	御謠初之節御役者 肩衣代	御馬中次料	投振改正	仕入炭極	江戸御金藏金銀渡し日	病死跡目知行御切米渡方	切米御合力手形	工 17 常静卸切米手形 ····································	用人御勘定奉行被下金	
四九九九七九		九四九四十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	四 四 九 九 四 三	四九二	四九九九一一一	四 四 九 八 七	八儿	M N		四世九八	

祿制大改革	御家中總祿高	御加恩知	安藤水野兩家祿高	再	世祿廢止	本高世祿	御目見以下之跡目	浮置歩増上け来	俸禄华知	祿伽第六	卷之八十六	勢州幷上方引越	類燒拜借金之割	類 焼 渡 金	江戸詰御扶持方	江戸初年清正清
	總人員共			慶應度			御立		天则度			渡金				立
<u>六</u> 五	六〇八	五九九	五九三	Fi.	五八九	正八八八	丘八七	Ii.	五七三			北七	五七〇	五六八	流六二	四儿七

米	諸	右	御	家		元	元	米	御	隱	陸	譜	文
务 裏 書 改 正	參事役料	無役高米券渡	切米廿四石以	令所勤人役料	諸局子供陸尺役	伊賀以下林付	女中へ御合力	券渡し方日段	役扶持上りた	居の者へ年金	軍役料	代陪臣無役高	武官人役料
		し振	下役已上及祿 扶持之者無役高割		料	の者へ給扶持年減	被下金米停止		る小祿の者へ年金幷御切米世四石以下の者へ米被下				
六 四 六	大 pu 六	六 四 四	六三八	六三人	六三七	六三七	六三四	六三三	六里里	**	六三一	芸し	六二八

禄	卷之
制	八十
第	七
七	

	○下役人より昇進振之事	〇世祿幷御加增之事 ····································	へ 之 部	ほ 之 部	に 之 部	御 内 則 ::	豫制第八	卷之八十八	は 之 部	ろ 之 部	い 之 部	御品附年數	御 內 則 一	永世御法		稍带第二
六 六 四 三 三 二 〇 九 八 七 七 五 五 七 四 五 三 〇 〇	: 七六七	七六四	-t- [ry hi	÷	:: :: :: :: :: :: :: :: :: :: :: :: ::	·			七〇六	::	六八〇	六七五	六七四	: 六五五	: 六五三	

										郡	卷之	第十	er M.		
\boxtimes	Δ	0	有	海	名	那	伊	緒	紀	制第	卷之八十九	册	過株(人間)語	 助主品附之事	
他領	給	御	田	士		賀	都		州勢州		16		等 代	品附	
他領入會所	नार	藏所	郡	郡	郡	郡	郡	言:	州和州			卷之八	手代等進退筋伺	之事	
7-71	所	721							川御領分御高幷村名帳			自卷之八十九至卷之九十六			
			八一	六	hr) bri	Ti.	六	_					セセー	七六九	

和 第 第 二	
紀州勢州和州御領分御高幷村名帳	
高郡	1011
牟堤即口熊野	一二六
同 郡 舰能野	六五
卷之儿一一	
郡制第三	
紀州勢州和州御領分御高幷村名帳	
伊勢松坂	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =
同田丸領	
同白子领	-t
大和三ヶ村	二八九
御領分村高調書 慶應四晟年二月	九二九二
舊幕府よりの御判物無之との事	力
和歌山藩支配所高屆書	九五五
卷之九十二	

郡制第四

人別	御領知戶	村	御留籔	養水井	御領分	御領	田邊新宮	和州三	新	畑返	當毛荒水	毛見幷作	免	田畑	田畑	紀勢石高地
	數人		同	池	大	分	上知	筒		田	永荒々	物之大		檢	位	味
改	口調	數	山	溜	川	境	新宮明	村	田	返	起	大概	,	地	付	物產
		戶數 人別				勢州他領 高野寺領へ渡舟	阴夕						田畑说達······	檢	茶桑栲漆高 增濱 寺社寄附高	
		•		•	•											
三三八	三二七	= Ti.	=======================================		011110	三八八	三一七	三一六	三六	≓. Ii.	≓. Ii.	三十三	= 1 1	三九	三〇四	二九六

制札	紀勢在町造酒株	公事出入	all and a second	竹木	教	田畑山林賣買	百姓上下之渡世	大庄屋給	小入川	在人足賃銀米	傳 馬 所	正米問屋	在中	在々役所番所	船舶社寺數	牛馬數	
	高		本斗立誓請 大川池晉請 御代官所立	寺社境内之竹木 松山支配 石土之切手	貨麥 新家貸 仕入貸 賣附米 牛代貨 火災風難流失貸			庄居給 肝煎給 杖突給	組費 常響 六郭凯	御代官所 御誓請方 郷役 大誓請方	浦々押送			二歩口浦 加子米			
三六五	三六四	三六三	三六〇	三五六	三五五二	三五二	三五	三四八	三四三	三四〇	三三六	三五	三四四	1110	01110	三二九	

一若	一伊	一期	-	一有	一在	一刑		一男	一沃	7.	-			那	一若	
山湊下之町に	都那新在	賀郡新村	之保田紙	田郡廣浦	々御什	人一人も	出家之者可以	女奉公人	水之戯を	名草郡布引	父母帖之教於	櫻池記錄	上那智郡櫻	賀郡北中	山湊惣中	町中諸法原
町に兩井戸を新	家村之千間	之貧困を憐	製造	波戸築造 .	置之儀右兩役	無之付郡を行	屆出 ::::	之事を町在	然う	村を開發西	論を下し賜		池新築 …	村海上池新	之水主米免除	中諸法度、橋辻侗札、在
で新騰	堤新築	恤 ::::::::::::::::::::::::::::::::::::			へ論達	行御代官	0 0 0 0 0 0 0	八布介		瓜培栽	\$			築	院 :	中
			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	•	0	へ被仰	0 0 0 0 0 0 0		0	0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0			•	法分、國中監
	•			0	0	H ::				•	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0		訴訟目安
			•				0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	•	•							•
	•		0 0 0 0 0 0 0				0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	•			0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0	0 0 0 0 0	
		•				0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		•
四二七	四二六	四二六	四二六	四三五	四二四四	四二三	四二三	P4 ==	四三二	四三三	四二	四〇八	四〇八	四〇七	四〇七	0=

芸 一他領之漁師共泊り沖漁に參候を不相應に浦手銀を取り何角障申掛け宿貸不申	笠 一在奉行之者他領へ罷出候事取締	茜 一浦上池春日池樱池御普請入用人足竹木入用渡方	当 一在々松山政道無沙汰に不相成様山廻り打廻	三 一大川筋御普請之節使用の諸式人足爲吟味奉行組足輕附置	· 一在々浦方共諸納方銀納筋自今金納勝手次第 ······	字 一池川普請入用之杭木願出之節取締 ····································		式 一餌差共在々へ宿泊之節木錢は組割郡割に仕可 ····································	七 一在々蜜柑口銀取立方	去 一入塩二步口取立	 	古 一諸士松苗 草候節之取締 ····································		一池水溜め方立毛旬に植付之事	十 一日高有田山中山燒取締 及留山の事 ····································	十 一在々早稻米為御救自今傳甫御藏納申付
申	四 四 〇	四三九	四三九	四三八	四三八	四三八	四三八	四三七	四三六	四三六	四三五	三五	四三五	四三四	四三三	

- 一給所上米霜月廿五日過候はゝ御代官所より急度取立 ·······	一御普請人足賃米自今通帳を以勘定	翌 一鄉役人足賃米初御普請筋定	高 一鄉役米拂方普請諸色之仕形 ····································	三 一子納郷役米傳甫御藏へ納方	子納郷役の事	至 一自今御切米は翌年四月晦日切御夏借は六月晦日渡し ····································	五 一種借利米二夫米銀御巖入分も給所同前に取立	李 一御納所年内皆濟中付に付ての事	四 一新田畑兇相吟味	只 一往還道幷井溝堤川除水道仕替等輕き普請は請切普請に仕立 ····································	巴一役米相改滯分取立	哭 一在中節儉之儀布達 ····································	四二一御用地引高之跡幷百姓一代限作取之田地灣無之樣	岡 一御扶持人足自今銀給を止め米給にて未進持之百姓共召抱	□ 一町在移住送り引込手形案	四 一田地本銀返證文書式
四七二	四七一	四六九	四六八	四六七	四六七	四六七	四六六	四六六	四六五	四六四	六四	1	四六四	四六三	四六二	四六一

三 一右に付大庄屋共へ會所にて申聞敷條且救助方取締之事 ····································	人つゝ會所へも可出	七一米價高直なれ共飢人無之段達御耳此以後廟念入大庄屋へも諸事中開	字 一田畑屋敷地分は不成筈候へ共不叶品有之は子細を願出べし ········	元 一在中池々冬之内に水溜可申	一御納所年內皆濟一兩年は無滯格立に付彌有物散させ不申様	空 一御勝手別で差詰りに付諸御普請差延し	 	瑩 一御普請所見分方在廻り心得方松山注意等之事	手宛等之事	 一在方之儀諸事念入可申聞旨 御意且在廻り節儉公事訴訟御普請見分	三 一麥作取入迄春之內御救宛稼方吟味之事	一本田畑不殘竿入斗代位附改 ····································	六 一毛見之法 ····································	卒 一地方手代切米定及人撰	 元 一 在 方 御 定 之 趣 池 川 御 普 請 見 分 指 遣 方 布 達	 	
		耳					6 9 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	普請見分弱人							
四八三	四八三		四八二	四八二	四八二	四八一	八〇	八〇	四七九		四七八	四七五	四七三	四七三	四七三	四七二	

伊都郡藤崎堰新馨	高林公	歷世郡治大微第二	那制第六	卷 之九十四	一勢州一志郡新井工事落成	○ 一在々へ被 仰渡帳渡帳節之書付	八一郡々免定下け札之案紙	孕 一在々類焼人疫病人へ御救賃金及被下来 ····································	· 元 一新田畑竿入改斗代附	式 一鄉摺之免籾坪仕出 ········· 一	屯一荒起烟返り之所免相積立之品	芸 一新規に普請を加へ片毛作りの所兩作地に成候處免相之事	宝 一大庄屋共へ假新田可被下に付來年より一人に付二石つゝ被下	之樣	当一度々被 仰出之儀末々迄行屆かせ公事訴訟無滯御年貢年內皆濟爛差支無	三 一御勝手御不如意に付諸御普請差延新規御普請爛相止
四九八					四九七	四九六	九九五	九四九四	四九三	四九一	四八六	四八六六	四八六	四八五		四八五

深

邊り山岸通りへ漆木植立	野山草木立兼る所へは茅植立させ申へし	風烈〜無之處へ杉植立させ植立木主へ半分遣へし	田地境論は撿地改の場にて裁決勝負申付へからす 山崎・同断	開發可致所は少々つゝにても連年開發出精すへし	百姓町人へ儉約不申付子細	百姓町人へは儉約筋決で申付間敷事	百姓町人へ用金申付るは國主の調伏を爲も同前	百姓共境目大切に可守様申付べし	一國の主は領內土民の事迄不知は名將と言へからす	牟婁下湯川村に暗渠を穿つ	伊澤彌三左衞門龜池を築く	伊都郡小田堰新鑿	越前國鯖江にて新知三万石御拜領	有德公	越前國にて新知三万石御拜領	沙 曼 2
-------------	--------------------	------------------------	------------------------------	------------------------	--------------	------------------	-----------------------	-----------------	-------------------------	--------------	--------------	----------	-----------------	-----	---------------	-------

奥熊野木本郡役所年中行事	下方三	大慧公上	百姓の雨乞を御助成	御微行の時大和柿の御所望を拒みたるにて御代官の治め方宜敷を御滿足	商工農家業を勵み遊民一人もなく金米他國へ出す	弱人普請被 仰付	海岸地高津波にて民家流亡の窮民御救助	勢州松崎浦にて捕鯨被 仰付	在々へ目安箱廻し候問親不孝幷惡性の者あらは書付にて入申へし	神社帰閣廢壞候はゝ無油斷造立修覆すへし	五穀成就所稿は毎年四月一日より三晝夜勤行可致定法に定置へし ····································	在々小村迄入口小道へ追分立さすへし	道筋往來一ヶ年兩度つゝ木枝根柴切拂遣申へし大小川筋兩土生同斷	寄り鯨あらは不殘浦方へ吳へし	城下幷領分之非人處分	領境の百姓隣國通用の儀障なき様隣國商人入込勝手次第	
五三三			五三三	<u>Ji.</u>	五二二	五二二	五二	五()九	Ii. Ch	五八九	五〇八	五〇八	五八八八	五〇七	五〇七	北〇七	

	六	五.	DE1	三.		11.	=	ナカル	大
右郡方手鑑中寛永慶安万治元蘇さ記するもいあり之な 清溪公より 有徳公の間に掲げさる	疱瘡病人収扱及び寺社取扱	行倒者の事 附緒子新非人他國より來る出家取扱の事	旅人の病者送り來又は送り遣す節の事	切支丹類族の者病死其他之事	異國船取扱御定幷諸大名渡海浦繁之節取扱等	御城来船御用木御用 瓦船難船諸大名手船難船の節取扱 流入有之節之事	奥熊野地士幷遠見常燈番人給扶持姓名 地士大庄屋子典刀指の事	新宮上け知明き知毛見の節心得 附當毛売改	在々火事之節取扱幷貨銀被下米 附職役米
	五七五	五七四	五七三		五六五	五六一	五八八	五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五	五五二

卷之儿十五

所以は首発緒言に既記の如し

郡制第七

歷世郡治大概第三

大慧公 下

郡方手鑑

七 公事出入吟味之事 附り右之吟味候節丼に芝居等初り候節慣日之事 五七七

				計力	卅八	卅七		卅五	卅四	些	世	卅一	幸	北北	共	
過にて出火一二軒之分は若山へ不及達	郡境村境山野之論等證據無之非分之儀不可出訴	在々用水掛引井路分水引方之事	尾呂志組大庄屋年々定井扶持方請取同斷御切米手形等之事	箇條立不申品々以後可見合筋留込	支配下諸役人取扱之事	在々より出薬草改所之事 附り三山社家より諸返納押筋之事	在中諸願達筋奉行衆添奉行中へ相達振之事	奧熊野人別調	與熊野本新田總高幷小物成高村數之事 烟高并に麵役米高村數之事		新宮正遷宮之事 附切觀樹院樣三山御初穗銀御上之節之事	入牢者幷に追放者之事	三山社領高幷に寺領高	御高札場有之所々	奥熊野山林御定書弁に先年之壁書	
六 六 () ()	六八八	六八八	六八八	六つせ	六〇七	i.	六()	五九八	Ji. 八八	九八七	IL 八 六	八四四	五八四	五八三	TĹ 八 二	

御川蜜之最本宮紅大庄屋へ達	奥熊野在中より鷲鵬打留役所へ差出候はゝ若山奉行衆へ	県熊野地士御目見して若山へ罷越	長島浦之者江戸駿河町三井店へ年季奉行屆	諸子 形案文 (燒下拜借手形牛飼代拜借手形 疫病人等来被下手形等)	新宮研屋吉大夫三山御太刀拭御用勤之事	與熊野二夫米代不時に若山へ差出に不及御仕入方へ可渡オ領入川之事あり…	兩熊野山中朽木は心儘に伐取中間敷	勢州兩熊野御代官郡奉行へ奉行所より申遣すは二名宛立之様子折々可相達…	百姓之忰幼少之內父相果後見之者有之候共田州山林保護之事	在々酒株賣買願自今若山へ不及達	添高札弁に浦觸之儀に付浦々可心得覺	御國幷他國之漁師共泊り漁に參候者共沖合にて漁事手支無之樣	於浦方中分致し船網船道具取押候事不屆千万さの事 山方も同斷	役人宅へ張紙投文なさたさひ理分に候さも御取上有之間敷	浦賀湊へ御番所被 仰付	上知则知火事類燒家之者之事
六八八	六一八	六一七	六一七		六一三	六一二	六一二	六一	六一一	六一一	六一〇	六一〇	六〇九	六〇九	六〇九	六〇八

一初て白砂糖を製出す	一勢州大足村の山論直訴	一勢州大口村伊藤五太夫を褒賞す	一藤代墨を再興新製せしむ	一諸薬草を栽培	一 甘	一朝鮮人參苗を試植	一紀勢御領民之窮困者へ米穀を賑恤	一父母帖を紀勢封内へ頒布	一套洞廢社を修治建碍	一勢州に於て捕鯨	御領分大庄屋名前	他領へ强盜入込助勢	組々畑米寄	常燈番人庄屋大庄屋地士等御切米受取手形案	下引本浦之者泉州岡田浦へ養子に遣	御在國之節役所より罷歸候へは早々御目見之儀申込支配	
;; :	六二九	六二九	だった	六二九	六二八	六二八	六二ハ	六二八	六二七	六二五	六 二 三		六	六二〇	六儿	六一九	

舜														否			
茶公	一孝子順孫旌表之事	一殖産興業及ひに治や盡させらる 敷條	一有司に命し勢州熊野を巡撫せしむ	一質素を本とし國民撫育を違す	一凶年に付来倉を開て赈恤且救米貯藏	一連年凶荒に付御教売請	一凶年惡疫流行に付救治法を頒布	一漂流人儲村により心得の御書を下賜	一若山京橋口へ訴訟箱を揚く	一苗俵ご称する者を豊年の祥瑞さし獻皇により司農へ御訓戒	一父母帖の事在中へ祭諭す	一高野寺領の蜂起を鎌齢せしむ	一在中之儀を御勘定奉行へ御直諭	殿 公	一町在之水難者へ来や賜ふ	一初て龜綾織を総出す	
	六四七	六四万	四四四	内四四	片三三	六四三	六四三	六四二	六四二	六四二	六四一	六三二	六三二		六三	六三一	

	昭	armed .	憲				顯									-	
一一位公の特旨により在町救助の為和歌御旅所處替土工を命せらる	德公公	一勢州松崎浦海面藻草取場の件に付藤堂和泉守領分會原村の者と守論	章公	一	一那賀郡岩出村六簡堰の改修を許す	一有田郡湯淺組井關村利兵衞の請願を許し男山陶器製造所を設立す	龍公	一 殖 産 興 業 に 御 熱 心	川上邊百姓一揆を起す	一同飯高郡粥見村立梅堰新築落成	一同同領田口村井關新築落成	一勢州田丸領麻加江村長廣谷新池堤防嵩置工事落成	一西名草郡船所村六箇堰續渠成功	一口熊野安居村鈴木七右衞門か暗渠成功を賞す	一大學頭樣より矢野庄左衞門を御所望勢州御代官に命せらる	在中御巡行の時の心得方を監察へ直論	
六六九		六六九		六六八	六六八	六六八		六六七	六五七	六五六	六五五	六五五	六四九	六四九	六四八	六四七	

沼田堀貫兩毛作之事	勢州見分覺書 五月 五月	音	大畑才藏日記 直元磷九年	绪 言	大畑才藏記第一 元縣寶永尚	郡 制 第 八	卷之九十六	一紀勢管内の窮民へ救米下賜	一管内の風俗を矯正す	一御領分一圓へ年貢の一歩通りを免除す	一村民極老の者へ扶持米や賜ふ	當公公	一有田郡廣村濱口儀兵衞の善行を褒賞す	一執政安藤飛騨守依願田邊領の口前所や五歩通りにて受負はしむ	一執政水野土佐守依願公私領地村替熊野木本村民蜂起	一在町へ大船製造費日錢を賦課す
七三六	七三三	t -0	六八五	六八三				六八一	六七七	六七五	六七四		六七一	六七一	六七〇	六七〇

卯年中御普請方	々御普請目	同領五桂池	田丸領山原村新田場	新田炯水掛共積	勢州出張報告書	大畑才藏記第二	郡制第九	卷之九十七	第十一册 自卷之九十七至卷之百七	新井普請出來背上け書	一志郡新井設計書	勢州一志郡新井水盛人夫大樣積	寅年中御普請人足中勘定	新地被 仰付候見立心得	勢州地方存寄	
					元祿十一寅年九月					[i] [ii]		元祿十一年正月	July 11		元祿十一寅春	i i
==	==:		μų							ししいハ	1:	-t: '4 :	-t:	[·	七三八	

普請仕方心得以上子十以上子十	在中普請鄉日用遣候時分見合心得	常々百姓に可申聞心得	新田積帳面仕方	池井手積心得	地面地性水持心得	 	普 請 方	新田炯田地積心得	水盛の法	地方普請積り	一坪の掛り見合	人一日役	地方町反積り	輕重竿之法	積り方見合書	大場積り間の法
				しかり	l f	1 1	L /	L)	L)		1	از ا		: 1	i j	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \

参州征門記プイ名		所役人名前 ······· 一州役人名前 ······ 一	中御善請所見分心得提書	手の事	并筋諸方見合頭書	山川海江野陸	池ご新井積り合	地方免算用 1	諸方井筋仕形善思御吟味覺書 元禄九年より	井筋之水たれ覺書 一	六ヶ井仕方に付善惡見合		六ヶ井筋水たれ ········ 一	A)]	1	
	brl brl	74 =		三三七二			一二九		一七	i Ii	pr	4 =		. 0		0 =	

松坂御領城と成	田大膳大夫重治 ····································	古田兵部少輔重勝	服然釆女正一忠	蒲生飛驒守町中提 ····································	蒲生飛驒守知行割	松坂城經營	蒲生飛驒守松坂在城	松坂雜集 上		勢州郡治 一	郡制第十一	卷之九十九	勢州村名覺書の後の書添	教 諭 書	年貢未進取締に付為得書 附五人組帳前書	田作り方	
-	は、お	t	七四			- - - -	-t:		一六八				一六六	六	四月九	一四七	

郡奉行衆到着歸國	御代官衆到着歸國	御船奉行衆到着歸	町奉行衆到着歸國	御兩役衆到着歸國	御應師到着歸國	御城代衆到着歸國	华 屋 ::	社 護 詞 …	双	築 地 …	御堀之內畑	鐵炮稽古場	八幡宮	四五百の森 …	御 厩 ::	御教訓松坂へ到來
				二項												
:一九一	: 一八九	:一八七	:一八六	:	: - ~ _ ~ _ ~	: 一八〇	: 一七九	:一七九	: 一七九	: 一七九	… 一七八	… 一七八	… 一七八	144	1 + +	:: 一七六

大手町	諸家暖簾用初	本町	御目付方物書	春屋	御徒目付幷常詰押	田丸會所	御鳥見	兩役新組	兩役古組	町奉行組	町奉行新與力	町奉行古與力	御城代組	御城番同心	御城代與力	常計御日附	
																	
= = =	1	= 10	=======================================	====	二〇九	三八九	二〇八	三八八	二〇七	= 0+	二〇六	()			HOH	九儿	

	外博勞町	惣 安 寺	御厨神社	千田新七家	博勞町	落 綠 寺	蜜藏院	城坊小路	正圓寺	矢下町	信人一庬	孝女よし	紺屋町	黨 陰 橋	工屋町	湯屋町	善覺寺
二四七																	
	-	- t	= = +	二十六	二六	二十六		<u>=</u>	五五	五五						DI DI	

龍	經	職	職	觀	觀	稱	觀	慶	寺	寶	寶	常	常	中	肘	中
花	經(繼)松	人町諸家	人	觀音小路	音小	讃	音	聚	小	光	光院小	念小	念	町諸	折	
寺	14	諸家	町	路諸	小路	庵	寺	院	路	院	小路	小路	寺	商家	橋	町
				諸家	*13	•		:			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	· 11		<i></i>	Jini	
•				:	•											
		:						•			•		•		•	
						•			•				•	•		
•							•						•			
		•				•						•	•			
						•										
		:	*								•					
•	:		•			•	•									
			•				•					•	•		*	
		•							0							
					•	•										
•		•	•		•	•		•	•							
•			•													
•		•												•		
						•					•	•	•	•		
		•		:				•				•	•	•		
		:	•					•			•	•	•		•	
•	:			:	:			:	:	:	•	:	:	:	:	:
111111	111111	11111	11111	011110	01110	1110		011110	01111	011110	0110	二九	二九	二八	二八八	二一七
-	-	-			0	0	9	9	0	9	Q	74	九	1	1	-4

郡制第十二	卷之百	清光寺	本覺寺	下職人町	遍 照 寺	遊女屋	矢川町	孝女夏	願證寺	彌動院	鍛冶町諸家	鍛冶町	日野町諸家	日野町	養泉寺	法久寺
			二九	二九	三九	三九	三九		1114	牛頭天王 二二七						

															4.7
愛	信	老人	平	開	天	油层	油	塩	櫛	來	萱	白	湊	湊	松坂雑集
宕	行	八七七	生	眼	南	油屋町諸家	屋	屋	屋	迎		粉	町諸		雅集
町	寺	七左衞門	町	寺	寺	昭家	町	町	町	寺	町	町	家	町	下
	- NAO	- pq	二四〇	二三九	二三九	二三九	三九	三三九	三三八	三三六	二三六	三五	三三四	二三四	

TiC

勢州

郡治

真 臺 寺	大工町	檜物師兩人	川町町	山神神	櫻屋町諸家	樱屋町	新町諸家	樹敬寺	新町	門前木挽町	八王寺	垣鼻町	官相寺	周 徳 庵	愛宕神社	神樂坂
		二五二	二五二		二五〇	一五	二四八	1四六				一四五				

新	在	雨龍	藏屋	新	町廻	VII)	百	極	大	泳	西	松	西	魚	魚	莚
座	會	能森神	生敷幷	規	地	井	足	樂	信	昌	町諸	坂		町諸		屋
町	所	社	行町會所	町	九 庄屋	MI	町	HI	寺	寺	家	JIJ	HJ	家	町	町
			管所		侄											
二压九	: 二五九	二元八	二五八八	二二五八	二五七	二五七	: 二 //:	二元六	二元六	二元六六	二五元	二五四	二元四	: = II. =	:	三五五三
1	九	八	/	1	-4:	t	11	15	15	15	py	24	pq	-		-

女人木綿織	商家懸り	最初	舊府	町の長最	高麗	橋前	川原	寡	小人	鐵炮	常教	後間	瓦	清長院	疊刺	木の
綿織	り田	年寄	法度	到	町町	诗	町町	町	町	町	寺	神社	HJ	决 申	肝煎	下
				は藏方さ唱										前		
二六四	二六四	二六三	二六二	二六二	二六	二六一	二六一	二六一	二六一	二六一	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二六〇	二五九九

HJ	御日	HJ	町	町	用了	湊	中	西	魚	П	新	本	大	年	大	角公	
臀	目見際	中寺	作	中橋	通り	町	町	町	町	野町	町	HJ	年寄	寄	年	谷七郎	
南	師	社	高	R	組	組	組	組	組	組	組	組	格	格	寄	即次郎	
二八〇	二七九	二七六	二七五	二七四	二七三	二七三	二七三	二七三	二七三	ニセニ	二七二	二七二	二七一	七一	ニセー	二七一	

緒 言	產物誌	郡制第十五	卷之百三	在郡日誌	奥熊野志二	郡制第十四	卷之百二	在郡日記	郡居雜誌	熊野道中記	绪 言	奥熊野志	郡制第十三	卷之百一	三領無役姓名 …	三領大庄屋胡亂者改姓名	
																改姓名	
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				6						0	•				0	•	
对次四				三九六				三七二	三四六	二九七	二九五				二八二	二八〇	

棕	楮	植	和歌山縣農事	御庭燒陶	認	甘	白砂	藤代	伊勢	日高	熊野	朝鮮人	奈良	西	野贸	记州崔甘
櫚			調	75	糸	諸	糖	墨	炭	炭	炭	參	漬	瓜	鯨 言	己
			查書	男山清寧軒小圖												
•	*				•	•		•								:
五二九	五二八	五二六	五二六	11. O	TL () ()	四九九	四九八	四九四	四九四	四九一	四八四	四八四	四八三	四八二	四七七	四六六

十寸穗の薄 上 十寸穂の薄 名 若 草 郡 …… 者 草 郡 ……

五八九

五四三

万四二

平上市	十寸穂の薄叙	十寸穗の薄上	產物誌	郡制第十六	卷之百四	茶		枇		桑	養	蜂蜜	
	小人	上					干	11	石田	[张]	無	重	

五三七

五三六

正正

Ĭi. ≣

正三七

北三〇

正

緒 言	財政第一	卷之百八	第十二册 自卷之百八至卷之百十五	勢州三領地士姓名	紀州各郡地士姓名	中世以後地士始末	地士錄二	郡制第十九	卷之百七	地士高野寺領の一揆を鎮靜す	地 士 改	地士所持鉄炮調	高野騒動の時出張の地士	須田組地士	六十人者地士	二六〇
				七八四	七四九	七四五				七四二	七三一	士 三 fi.	せこつ	七一七	七〇九	

发之 百九

-	H H H	昭	焦	illi	死	香	肥	-44-	大	有	派	वि	清	帕	JAP.	
ا		纪	artica Lys.	龍	恭	E.	作	提心	慧	德	J.C.	林	溪	TE	歷世經濟之大	
	公	公	公	公	公	1			公	公	公	公	公	公	大略	
	五八八	Ti. Ji.	Ti =	四七	三九			二九	II.	Ti.	1,1	ered and and and		四	bri	

口米	指米	糠藁	二夫米	租稅	勢州三領收納	歲入	明治五年六月四	明治元年十月	慶應三年十月	慶應二年十月、	慶應二年六月	慶應元年十月	目盛 略 弘化	日 盛 慶應	總御收納總出行	歲入出
					帳尻山道形			より 同二年九月まで納拂大凡見詰	より 同四年九月まて紀勢卯納金方大樣見詰	より 同年十二月まて金方納拂大樣差引	(より) 同年九月まて納拂大樣積	より 同二年九月まて納拂大樣積	化元辰年	慶應二寅年調	納總出知行出扶持及御旅行費	
py Ii.	74 24	pq	四四二		三七七		1 11111	=======================================	0	九七	九五五	八三	八一	士	七一	

八八七七七六六二五五五四四四五六八七十二六九七三二九七五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五

少口役所		二步口	財政第四	卷之百十一	廢藩置縣に付勢州三領版籍他縣へ引渡書	外 阈 债	朝延より金札拜借	松坂引拂の節債主へ達書	祠堂金預り敷金預り高	御立用金高	公儀より拜借金調	貸	銀札高削減策建議書	銀札引換に付主法意見書	御家中勝手賄商人を廢し勝手収締方建議	金相場之儀に付建議 再建議
二七五	二七四				二六七	二六六	二九九	二五七	二四六	二四六	三四二		二三九	二三七	1111111	二三九

諸仕入雜件 ····································	手 質	業 務	規 本支局	役 員	定 銀 本支局	在々出張所(著山本役所) 三役所發端		御仕入方 一	財政第五	卷之百十二	二步口役所扣 (紀勢御領分津々浦々)	紀の川筋材木二歩口銀廢止被 仰出に付請願二件	水野土佐守安藤飛驒守都で手前仕置被 仰村候得共二歩口は是迄之通	口 銀	二步口役人品附申立極	
174 	pu = L	174	则()	M ()	三九一	= = = + + + + + +	ニッナ				ニハハ	二八六	二八六	二七七	二七六	

-
-
六
-9
1
/

知行切米之者下人召具員數	同	軍 役 定	軍	軍制第一	卷之百十四	熊野三山御寄附金貨附所	木本御仕入方	本宮御仕入方	下越方番所	高津尾御仕入方元極帳	長島御仕入方極書元帳	在々御仕入方	江戸御仕入方	維新改革	仕入板拂下	御家中炭代納銀種類	
五五七	五五四	五五二	114 ()			五三七	五三六	五三五	三里四	五六	四九七	四九六	四九五	儿	四八九九	八八八八	

第十三册 自卷之百十六至卷之百二十四

-							-	-								
界海岸臺場警衛	大坂御守衞	大坂御入城	正親町少將殿守衞	警衞出兵	親征出兵 四	軍制第五	卷之百十八	長州征伐三	親征出兵 三	軍制第四	卷之百十七	長州征伐二	親征出兵 二	軍制第三	卷之百十六	ターニナー イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

奥州白川へ出兵	關東出兵手負討死屆	出兵入數屆 二條	還幸御道筋御警衞	下京中取締	關東先鋒二之手	英佛公使參朝下阪警衞	御規征御留守中京都御警衞	外國公使參朝に付市中巡邏	蒸汽船御用 慶應四年二月	東海道先鋒	國力相應人數可差出	二大隊國分寺今宮邊警衞	日御門御守衞被免	外國人渡來に付住吉村取締	石屋村等取締	大坂御守衞御免
1110	01110	一二九	一二八	三八	ーニス	二三八	一二八	一二七	二二七	一二七	一二七	二二六	二二六	一二六	一二六	

	を命す海防議を建白せしむ・	組に補す	E					k				内旨を奉す	二項		之間道 	<u>*</u>
士士																
	元七	一五七	五五六	五六	五五五	五五五	五四四	<u>H</u> .	Ti.	四八八	四八八	一四六	一四六	四五	一四四	四三

	二一九		工兵傳習	城佛下								幹御沙汰 一八七		折込		八五
軍政大改革	砲隊始末	江戸三兵傳習隊を若山へ召す	兵傳	西洋銃所持の訓令 同銃年賦號下	江戸兵制改革 陸軍泰行並な置	兵制改革を幕府へ申告	農兵組立	銃隊編成	軍制改革 一	郡制第六	卷之百十九	1.15	瀧畑村へ柵門新設	友ヶ島海底測量の闘	加太浦へ醫察使密向	

同規則	兵學寮新置 ····································	戍營諸布告	及營職制署	軍制改革 二	軍制第七	卷之百二十	及營を置く	孛人を雇聘兵制孛式に改む	交代兵に關する布告	徵 兵 使	兵赋略則	交代兵要領	交代兵を置	陸軍禮式概則	指揮官章程	
ニハハ	二八八	二六八	二元八				三五三	二四九	二四六	可见	四四	三三九	二三七	三五	111	折込

生

174

御城太皷打を廢す	神葬祭を許す	三味線胡弓之音曲禁止	百姓町人共を手打成敗禁止	金錢借貸之者民政局裏判すへし	剃髮職之者蓄髮	歌舞妓芝居等へ勤人見物制禁	山川御留場(御免場)廢止	手代小役人病死を隱匿に付	猥に發炮を戒む	御家中病死隱匿に付發令	慶應以後法令	近世法令變更の大目	左京大夫樣御合力米	方々樣御定銀米	叙族式 舜恭公御制定
	=	<u>pq</u>	四三	<u></u>	四一一	<u></u>	四八九	四八九	四八九	四〇八	四八八	四 〇 七		() ()	三六九

度

法令制度第三	卷之百二十三	御家中類燒	江戸火事諸則	水火諸規則	寬文延寶火事定	水火防備制	同細则	同祿高間數定	同御長屋定	同御法度觸	江戸御長屋	屋敷御長屋制	徐	制度緒言	7,
					0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0						0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	-
						0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	

TL O

fi. Ti.

		展之百二十四
五九三		看病御暇
五九三		高野參詣
加九一		御領在御暇
五八八八		湯治
五八七		他國御暇
五八六		請
五七七七		立寄參詣
五七〇		御家中旅行:
五六五		家來:
五五九		供連:
Б. Б. Б.		2000年
五四五		途中出會
Ti.		御禮廻勤
五二五	乳河上	御家中系譜
Th. O		文格·

制

度

1.	流	產	SH				मुन	嫁	名	H	養	嫡	心	卷	
畜	行	7 24	7350	御	停	図		1004	100		女	孫	110		
	病	穢	穢	家中											制
食	禁			r la						•	厄	承			
穢	記	忌	忌	喪忌	11-	2	忌	娶	稱	生	介	祖	領	子	
	16.			,6,	ملك	10.			•						度
:	•	:	•	•		:		•		•			•	•	
:						:				•				0 0	-
	•		:												
	:	•		•		•			•		•				
:		•	:			•						•			
		•	:	•		•	•				•	•	:		
0						•	•						•		
	:	•										•	•	•	
		•						0	•	•	•	•	•	•	
		•	•	•	•	•		•	•		•				
•	:	•	•	•	•	•		•	•		•		:		
•								•			•				
•		•	:	•		•		:	:		•			•	
•	•						•				:				
		•		•	•	•	•		•		:			•	
•	•	•	:				•	:			•	:		:	
•				:	•								•		
					•	:		:			:				
•	:			:	•								•	•	
:	•		:				•	•	•	•	•	•	•		
							•	:	•		•	:	•	•	
:		:	•	:		•	•	•		0					
•	•	•	•	•		•	•	•	•	•	•	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•		
六	六六一	六六一	六	六五一	六四九	六四九	六四八	六三三	六二八	六二七	六二三	六二二	六一八	五九七	
六六三	^	-	六六〇	11	九	九	1	=	八	七	The same of the sa	-	八	七	

出 家 … 出 家 … 出 家 和	節付一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	四 三 五 一
藥拜領願		大七八 大七八
百一十五四册	十五至卷之百三十五	
寬永元年正月御成一言	第	li. —
政十年九月御	御飾付	四三
秘 鑑 舜恭公 公方樣紅葉山兩山	兩山御參詣注進之次第	九六二

	Rds.		典
	勝 姫	Man	施
	樣御	御婚	第
i	婚禮	禮	
3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	上	

種姬君樣御人與御婚禮

就如将へ役給斜

1 1 11

九八

九四

一四六

四〇

......毀曆十一年十一川......

.....安水五年十一月

式部卿樣御引移	豐姫樣御銭漿初御婚禮
	御好禮文化十三年十一月
	…文化十三年十一月

倫宮樣御鎮漿初 肥品 御 第 婚 禮 下

卷之了二十七

同 御婚禮

卷之百二十八

刑提

第

[ru

年十二月 一九九

一八七

御姬樣方御入興御道具帳 上

御行列立御道具初御飾附品御手道具類 岩 二五四四 五五三

海 大	與
-----	---

	上海下不	各前夜	當日	天兒御伽	御祝儀筋	同夏同	御先樣冬御夜る	夏御夜る	冬御夜る	御召筋	御反物綿類	筆紙墨類大樣	女中乘物	御仕着類	御醫師詰所御道具	御用部屋御道具	平日諸御用宛筋	
	で前をる ····································	冬夏					123											
二八七					0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0		000000000000000000000000000000000000000		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	
	三九二	三九一	三儿〇	三八九	三八九	三八八	三八八	三八七	三八七	pu.		三八〇	三七九	三七八	三七七	三七二	三七一	

		L
	卷 月 糸 巻	
	御興之者御半下看板 ····································	三儿八
卷之	卷之百三十	
tlit	典 禮 第 六	
	久米之丞樣御宮參御箸揃御祝 ····································	()
	方姬樣御紐直御祝安永九年十二月	<u>рч</u> —
	中將樣御鎗初御式	八
	豐姫樣御髮置御祝事和二年十二月	九
	豐姫樣御紐解御祝	四三
	御中﨟着帶天保三年正月	
	伊曾姬樣御誕生	四三三
	菊千代樣御箸揃御式如化三年九月	
	御簾中樣御麻疹	174 174 174
	御ひんそき御袖留 丼に圖	四四六
	御餝附圖式	Ti.
	御厨子黑棚傳 ····································	八〇

THE	耐		
龍公御精進日	社御名代定		年
御	名		中
末語	10	11	
進	定		行
H			事
			-11
•	•		
	•		
•		•	E
		•	- La
	•		
•			

斯 等 總

維新後年中行事

御法事規則幷豫參

7i. () —

四九七

四九三

四九一

- 0

. . .

六二七

六五二

六三一

六五四

上使を以知	御留守の体	御歸國の味	御着城御女	御發烈御衣	玄猪御	嘉定御	八朔御	頭御	赤	御式御
以御拜領の御樽肴御披の節御式 …	の儀御沙汰	の時仮御養子	御次第	御次第	御式	御式	御式	御式		式御禮式上

六七五

六七三

六七四

六六九

六六八

六七一

卷之百三十四

典

禮

第

+

御式御禮式

下

維新後御禮式規則 七二九	年中差定御酒被下 七二九	漫	年中御祝省略 七三二	五月五日御次第 七二一	御着城御次第 七	年中御式 七	維新後	御禮式規則 ······· ··· ··· ··· ··· ··· ··· ··· ·	御給仕向心得 六九二	高野坊主幷勢州御暇御目見地士御目見御法事掛被召出之御式 六十	寺院住職入院御禮且初て御目見御禮之御式 六八六	久野丹波守位記頂戴其外御加增之御禮御役儀之御禮初て御目見之御式 ······· 六三	御式 ····································	東照宮御誕生支干相當に付御拜領之御樽肴御頂戴奉書御披見且御拜領之鶴庖丁	宿繼奉書を以御鷹之雲雀御拜領に付御披見御頂戴御式 六八○	
九	九	mend meng mend mends			七一九	七一六		-1:	二二	六九	六六	六八二	^		Ô	

出駕式

御供心得 七	御 供 筋 覺 寛政以後出御に關する諸布告 七	中將樣不時御登城 七	西丸御幌御拜見 七	御能之節御登城 七	御謠初御凳城七	御登城御供帳 御徒目付記以下同 七	御登城御供心得 ··········· 七	奧向御登城 七	上使御登城 七	年中御登城 七		1 3
七八六	七七四	七七三	七七二	せせ〇	七六九	七六五	七五六	七五一	七五八〇	七三七	七三二	

第十五册 自卷之百三十六至卷之百四十六

卷之百三十六

典

禮

第

八儿

八七

/\
li

-t·

六七

六六

六三

六一

pul :: 二八

0

聖堂御參詣	熊野權現御參詣	米川社御參詣	山王 社御參詣 觀理院へ御立寄	廣大院樣御年回御參拜	明信院樣へ御參詣	鑑蓮社御參詣	増上寺御襲屋に御自拜	右に闘する諸布告	增上寺御靈屋方御豫參	御自拜に相成候御次第	芝御豫琴	出意式	典禮第十二	卷之百三十七	谷中護國院へ御參詣 ::	御同所樣へ終日被爲成	
			业会														
二二九	二二八	一二八	二五五	一二四	1111		一九九	-		- () 儿	九三				九二	71	L)

	小石川傳通院へ御參詣	目黑邊へ被爲成	傳奏屋敷へ被為成	同駒込御屋敷へ被為成	同小梅御屋敷へ被為成	水戸様へ被為成	同外山御屋敷へ被為成	尾州樣へ被為成	尾水樣被為入取扱	尾水様へ被為成	同斷之節御取扱振	左京太夫樣へ被爲成	八町堀御屋敷へ被為成	澁谷御屋敷へ被為成	青山御殿へ被為成	御上屋敷へ被為成	大塚護持院御參詣	
<u> </u>		无五	- Th.	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				- Ji		Py —		三八	一三六	三五				

														朱			
御供着服等	尾水樣御同道且御徃來	御途中御出會 一	御下乘所	御元服御官位前御會釋振 乘切登城之節御會釋	御 會 釋 御轅の節御會釋摄	御登城御豫參等御草履取扱心得 一	出御口極り 一	中奧御小姓御先番覺 一	坊主御供御先覺 一	奥御供方當番取扱心得 一	出火御供心得 一	出怨式四	典禮第十四	卷之百三十八	御警衞增御供 安政七申年櫻田事變以來 一	御老中方へ御駕寄 1	
	1111111		0111	二〇七	二八六	八五	八三	八三	八二	一七八	一七三				五九九	五八	

同 一の御行列 御屋敷廻り	御屋敷内一の御行列 御庭御堂等御參詣取扱	憲章公御引移御行列 ····································	御馬上御登城御行列	地の御行列御登城	增御供減少後御規式御行列	三の御行列	御規式二の御行列	御規式一の御行列	御行列目錄	御行列規則	江戶御行列	出駕式 五	典禮第十五	卷之百三十九	御供役々	御道具向	
		· /L	i.	ニルじ	元元	九二	二八七	二八三	二七六	二五九						三三八	

三の御行列地の御	下津浦より御往來御	上使御迎送の節御に	二の御行列	御装束にて日前宮御	一の御行列 御直垂	御途中より雨天に	大御行列	御規式の部	御行列目錄	出駕式七	典禮第十七	卷之百四十一	雜 則	退散後御行列	御野服御供	雲蓋院御參詣
御行列	行列 長保寺御參詣の節	行列		參詣總門內御行列	御直垂御狩衣之節	天に成布衣着御供御用捨の節御行列										
pg pu	P4 P4	pq pq	四三八	四三七	四三二	四三	四二五		四二三				四〇七	四〇六	四〇一	

御早乘御行列	川筋へ差掛り御成の節御船行列	常番詰合御供にて川筋御成の節御船行列	川筋悪敷川御座小早等通船難成に付當分御行列	海御成御行列	川御成御船行列	海川御船行列	伏見御船組 寬延三年四月	出火の節御行列	同斷の內御場內御行列	同段切御行列	遠御成二の御行列	同斷の內御場內御行列	同 段切御行列	遠御成一の御行列	御野服之部	當番詰合御供御行列
			列													
四九三	四九二	九〇	八九	四八七	八五.	四八四	四七四	四七一	四六八	四六五	四六一	四五九九	四五六	四五二		五〇

卷	即登日是長	御 關 札	御休泊	御道中御供	文八三年御歸國	御參府御歸國 天保十五年御歸國御行列	日光御豫參御行列	大 慧 公 同	有 德 公 同 外宮之圖	清 溪 公 同	南龍公伊勢御參宮	御旅行一	典禮第十八	卷之百四十二	友ヶ島御巡覽御行列	御郭內外御行列	
								享保五年四月	正德二年四月	真享二年五月	是一年九月						
-	五七四	五七三	五七二	五七〇	五四八	五三九	五二八	五五五	五二二	四九八	四九七				四九五	四九三	

御道中御供諸規則 .	御小納戶御道中勤方心得	御旅行二
	心	
	行	
•		
•	•	
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	•	
	- La	
六一三	0 =	

卷之百四十 [4]

四

圖

六四

○頁と六四一

頁ごの間に六十七葉の

7 U ス 1

プ挿人…

六四〇

六二四

附

録

西條公御

入

或

御

船組

行列

典 第二 +

方々樣御行列定 行 御 行 列 제

六四

六四

四

御姫 同 同 同 江戶 从樣方御 御入輿之 御 略御 下向之節御道中御行列 行 行 行 節御 列 列 제 行 列

六六三

六五七

六五五

六五

六四

與句卸旅行卸他行

七 芝有章院樣御顯屋御參詣圖	六 同 斷 圖	五 芝墳上寺御靈屋向御參詣圖	四 同御臺樣方御靈屋御參詣圖	三 上野御靈屋向御參詣圖	二 御本丸御下興場之圖及麴町邸御玄關之圖	一 兩丸御登城御通行圖	稽言凡例	御登城御參詣及御行列に關する闘式	典禮第十二	卷之百四十六	鶴樹院樣上野御參詣文政三年四月	倫宮樣江紀數回御旅行	附御結約	倫宮樣江戶御下向安政七年正月	方姬君江戸御下向	原 向
八九九	ハーハ	八一七	八一六	八一五	八一四	八三	八一〇				七九八	七九六	七八八	七四一	せつせ	

# =	-	-11-	扩九	计八	廿七	廿六	#* Ti.
同御供の諸士供方風俗其他	御旅行御供形装圖	步行御供形裝圖	松平修理大夫樣御道具圖	御小道具之圖	御拜碩御駕之圖	御道具類之圖	御裝束御行列立之圖
八六七	八六五	八六六	八六〇	八万	八五三	八四六	八三九

第十六册 自卷之百四十七至卷之百五十七

卷之百四十七 服 制 第 一

御衣冠	御東帶	武家裝束皆具略記	装	綜]
衣冠之次第	束帶之次第	米皆具	束	言	
	宇治田秀八郎提出以下同	、略記 事府制度		總服飾署解	
二七	===		0	_	

八六二

Ii.

四三

三四

11111

二九

卷之百四十

服制

少九

九六

九四

八五

八五

九一

**	1111	- L	-4-	殿		200	-40			1			Y.E.			
染	服	熨	麻	中	白	退	素	布	大			直	狩	小	直	衣
帷	紗小	斗	上	服						衣	位束			直		
子	袖袖	目	下	MIX	張	紅	襖	衣	紋	冠	不帶	垂	衣	衣	衣	冠
九丘	九四	九四	一九三		九	九〇	一八九	一八八八	一八七	八五,	一八二	八八二	八八	八八〇	一七九	ナヤー

											雜						
桐	华	長	伊	野	和	裁	襠	馬	野	TUI	A-IL:	+	丸	打	肩	自	
	合	合	達			附	高	乘		袖	220-2		羽	裂			
油	羽	羽	羽	服	袴	袴	袴	袴	袴	初	服	德	織	羽	衣	衣	
1111	183		織	/30~	1.0		1.3	113	1.0	織		Lev	TISC	織	•	1	
二〇八	10七	二0七	1100	11011	1101	101	100	1100	一九九	一九九		一九八	一九八	一九七	一九六	一九五	

文武官新制服圖	服制第四	卷之 百五十	御婚禮 服	御藤中榛火事御頭巾 女中同	やの学帯	御抱取下御帶結樣	御興异細年下看板着	抱収からけの風	女中爱容老女神部屋方女选	御 携 帶 品 御髮具等	御	腰片卷下	御宇元服前後 元日 五節句 御平日	御藤中榛御服	大奥御服圖	江戸四つ供之風
			二六三	二六二	二六一	二六一	170	二五九	五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五五	二四九	二四六		三四四			1

ůn.		1H					-1-1117					alle				
船	幕	提	鎮	紀	輸	中	標	त्रन	沂	落	御	徽	武	文	武	文
					Allh	,		條	世	御	1-1-		官	官	官	官
cn		历之	0	0			章	西條公御庶流御紋	近世御紋及替り御紋	葵御紋古今之圖		章	平平	平	古式	式
ED		燈	字	字	拔	黑		庶	及及	白合	紋	早				
•	•			,	4/~			流	替	之		•	服	服	服	服
								御紋	约	圖			:	:		
								心人	紋	•						
								:			8		•			
•	:					:			•				•			•
			:	:	•	*		•	:		*		•	•	•	•
•		:		•	*	*					0 0 0	*	*	•	•	•
•		*		:	6 6 9	* * 0				•	*		•	•		•
e e	•			•		*			:		•	:	•	*	•	•
		*									0 0					
		8 8		•									•	•		
											*	0 0 0			8	
:			:						0							
•	:	*	:		3			•	0	:						
:	:		:	•	:	*		:		•	•		:			•
					*				•	•		0				:
•	•	*	:	:	8 0			*	•	•		•	•	•		•
•		*	:	•	*	0		•	•	•	•	•	•		*	•
•	:	0	•	:	0	*		•	•	•	*	0	0		, .	•
•	•	9 0	•	:	*	*		• • •	•	•	*	•	•		:	•
•	0	0 0		•		*		0 0	•	•	0 0 0	*	*	•	0 0	
:	:	*	:		:				:			:				
三九八	三九三	三八三	三八三	三八二	三八二	三八一		三七九	三七七	三六八	三六七	三六七	hri hri	三三七	三二八	13111111
1	=		=	_				儿	七	1	七	-1:	hil	t	八	

会之百五十一 を之百五十一 一 を之百五十一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

般 若 院 一里山町	珊瑚寺岡の谷	惠(比壽)社 湊小野町	西本願寺御坊 北 町	光明院湊才賀屋町	根來山今畑村郡	淨 心 寺 宇須村	松生院間の谷	圓 珠 院 和歌道	光恩寺亦倉村郡	和歌天滿宮	南龍公御代	社寺制第二	卷之百五十二	雲蓋院改革	大慧公御始 兩御靈屋彩	西御靈屋總圖 …
													•		7色圖	
Ti.	五五	Ti.	Ti.	lî.	li.	五八八	Ti.	Ti.	元	Ti.				₹i O E	Ti. O	Ti.

金 滿 歡 常 地 淡 稱 王 願 海 藤 永 濱 藥 1 伊 志 白權 津 久 滅 剛 E 念 島 成 雲 願 德 5,0 所 北 1E 峰 逍 现 大 前期 加州 寺 明 市中 院 社 社 神 橋局 加局 加局 和海 別局 冷局 藤同 日局 紀同 寺局 毛名 津名 禰名 市名 南 計 本 太 太 歐部所 水 白 方 三 內 見艸秦艸宜艸 顧名 村郡 浦郡 浦郡 村郡 村郡 浦郡 浦郡 浦郡 市郡 村郡 村郡 村郡 村郡 新 地 五 五二 Ŧi. Ti. Ti. Hi. Ti. H 五 五 一九 一七

九

七

六

六

六

八法久深 星 禪 福 廣淨 須 法 福 野 或 福 睡 主 八妙 佐 然 琳 藏 崎 專 尾 長 藏 分 勝 國 幡 神 幡 阴 宫寺 寺 寺 寺寺 寺 寺 社 寺寺 社 田同中同中同別同湯同星同土同湯同廣同小同千在沖同豐同小同東那門南同同野野所 淺 星 生 淺 野 島 田田々 田 畑 分質前部 五三〇 五二九 五三 五三 五三 五三〇 五三〇 五三〇 五二四 五二四

道圓 若 大 產 安 THE 補 妆少 水本新那 光長極 崎 馬 法 量 田 陀 王子 權 山 大 成 光 樂 智 滿 福 德 神 壽 洛 m 明 現 權 神宮宮山寺 社 寺 彌 社 寺 峰 山 野 本 本同土 馬 宮熊宮 那日野熊宮熊 熊 野熊 卷高 村上村上村上浦上浦上村上 上 村上町野村上山野村野村野 村野 村野 村野 村野 村野 村野 村野 五四五 五四二 五四四 五 五四二 五四五 Ti 孔 Ŧi. H. Ti. 五

四三

四四四

四四四

四四四

四五

四五

四三

若宮 護 伊 大 大 久國日吹 總 正 矢 誠 粉 禪 太 八幡宮 111 祈 智 恩 昌懸前上 持 剛 遠 福 證 林 曾 寺社宫寺 宫 寺 寺 寺 寺 社 寺 寺 寺 寺 西同 粉那 伊名 加賀 州賀 新村郡 村郡 村郡 村郡 吹上間 秋 湊道 大甲曾那 吹上寺町 吹上寺町 井 車若 梶名 中奥 金 栗 月 戶 屋 原 取艸 井熊 塲町 村 町 町 村 坂山 村郡 浦野 山 五六六 五六四 五六四 五六三 五六三 五六一 五六〇 五六〇 五五六 五五 五四 五四 五四 五四六 五六七 五 五

 \bar{h}

Ti.

174

九

四六

				社	卷之百五											
多	三	鵙	海	寺制	自五十	同御	妹背	本遠	大智	妹背	妙	地	蓮	千	圓	久
門	社明神	武神	神	第	十三	資塔	御寶	寺總	寺御	御寶	夢	藏	經	陽	滿	成
院	社	社	社			圖	塔總	腡	靈屋	塔	寺	寺	寺	寺	院	寺
一里山	北苏賀	鳴中神	神那 領賀			•	圖	現時增		和歌	多名田艸	芦 帶	西同坂木	湊	宮那賀	裡町吹
村	村郡	村郷	村郡			•	0 0 0	境內圖		iff	村郡	村郡	村郡		村郡	火 虽 町
六〇六	六〇五	六〇五	六〇五			六〇四	六〇三	六00	五九九	五九四	五九四	五九四	五九四	五九三	五九三	五九三

毘	丹	若	了	重	炒	明	本	長	窓	藏	视	孔	法	演	養	丹
沙	生明	一王子	法	顯	宣	王	久	保	譽	王	音	體王子	紹	光	珠	生
門寺	神社	ナ 社	寺	寺	寺	院	寺	寺	寺	寺	寺	ナ 社	寺	寺	寺	院
		東那		車	新	族	塩	上海	吹上	山那	別那	西日野	神名	和	和	西大
村	万生智	野賀村郡	田艸村郡	坂	堀	領	道	部村郡	上寺町	崎賀 村郡	所賀村郡	野地村郡	前艸村郡	歌道	歌村	大工町
	村			•			:	諸	•	:	•	:	:	:	:	
		•			0	•		圖附	•		•					
•	•		•			•		:								•
•	*	•	•	•		•	6 0		•	•				•	•	•
•	•	•			•			•	•	•	•	•	•	•	•	•
•			•		•		•	•	•				•			•
:	•		:					•								
:	•		•			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	
•			•		•	•	•	•	•	•	•			•		•
•			:	•		:	*	•	•	0			•	0		
•			•			:					0	•			•	
•	:							•	•	•	•	0	•	•		
:			:	:			:	•	0 0	•	•	•		•	•	•
:		:	:		:		:			0			•	•		•
												:	•			•
:	:	:	:	•		:	:	:	:	•	•		•			•
六七	* t	六七〇	六六八	六六八	六六七	六六六	六六六	六一	六二三	六	六一二	六1二	六一	六	六〇	六〇六
comité	40	0	八	八	4	六	六	py	time time process	111	made. Games	manth Grand			04	六

	外	御	矢顺	[ii]	同	同	同	[ii]	闸	海	蓮	廣	遍	題
1	州野山	神體	概浦五			市市	竹.		THE SH	漩	水	茶	訊	1:0
9	对 呼 叮	之圖	及御宮			社	牌		神社	寺	寺	寺	寺	社
1	HI	:	宮之圖	小勢州田飯	廣在田	野勢州	阿布朝門				千代田安	宮勢州度	柳	湯在 淺田
	言と引	•	in in	村高都		村藝	陀 ,	村			田安倍郡	度會郡	町	村郡
	•	•	•	:	•		•	•		•	•		•	•
			•	•	•	0 0		•	•	•			•	•
						9			•		•	•		
	•	•	•			0 0	0			•	•	0 0 0 0 0		
			•	:	•	e e e	•	•	•		•	•		•
		•	•	•	•	0 0 0	•	0 0	•	•	•	•	•	•
		•	•		•	0 0	•	•	•			•		•
				0 0		•		•				•	•	
					•	0		•		•	0 0	•		•
		•				***				•	0	0 0 0		0
		•	•	0	0	0 0 0 0	•	•	•	0	•	0		0
		•				0 0 0	:	0		0 0	•	•		

寺社之件被仰出數條	御寄附品	慈 光 寺 名草郡	刺田比古神社 岡の谷	松部	養源寺青田郡	大山權現社 同 上	熊野權現社 雅野浦	有德公御代	深覺公御寄附 …	清溪公御寄附品	御寄附品	光明寺监谷村	善福 寺 湊道場町	應 供 寺 梅鄉郡	封內社寺改	報恩寺吹上
七四一	七四〇	七四〇	七三九	七三八	七三六	七三六	七三六		七三六	七三元		七三五	七三五	七三四	七三一	六八七

卷之百五十五 社 寺 制 第 五 *	高野山寺院へ御寄附	日蓮宗禁止 撰U遊伽自林光寺御寄附 鮫ヶ橋:	上寺県本尊へ	菩提心公御代	圆如寺吹上	七面堂砂山	武內宿禰誕生井	鳴神社鳴神都	明 見 寺 中の島村	H	麻為姫神社 半秦村郡	鳴名神草
		自著 七					+		÷			
	七六六	七五八八	四八八		七四八	七四七	西五	五五	四五	七四四	四四四	四四四

				252													
永田	藤澤	攝州	本	舜恭公	治光	多武	道明	高	忉利	黄檗	當	高	延	西	高野	德本	
馬場	遊行	多田	Œ	御代	院	學慈門	寺三之	天	天上	心山萬	麻	松	命	福	山御	十行者	
山王	上人	院	寺	10	慈護失	門院	之室	寺	寺	温福寺	寺	寺	院	寺	登山	御引	
社	:	•	田		人寶	和	, mila	•	摩攝	:	•	吹	岡町	海部		見	
0 0			邊		塔	144	•	•	山州	•	•	上	領	郡加太	•	•	
0 0 0 0 0	•		•		:	:	•		•	•	•	0 0 0	•	浦	•	•	
•	:						•	•	•	•	•	•	•	•		•	
			•						•	•			•	•			
•	•	•			•	0	•	•		•	•		0 0	•	•		
•	:	•			•	•	0	•	0 0 0		•	•	•	0	•	•	
			•		•	•			•	•	0 0	•	•	•		•	
			•			•			•	•	•	•	•	•	•		
		0 0	•		0	•	•	•	•	•	•	0	•				
•	•	•	•		•		•	•	•	•	0 0 0	0 0	•	•	•	•	
	•	:	•		:	•	•				•	•		•	0	0 0 0	
•							•			0			•		•		
•	•				•		•	•	•	•		•		:	•	•	
l: Ii.	·l: ·l: /i	七七四	七七四		七七三	七七三	七七三	七七二	七七二	七七二	せせー	七六九	七六八	七六八	七六七	七六七	

オ	1	守	伊	切	御	省	伊	同	Î,	封	日	護	码	御	直	無	邦
在之が耶	没	院下馬下毛	勢正遷宮	支丹宗門	朱印還納	公	勢兩宮領	神社	社役所直	内社寺數	吉山王	國寺	田八幡宮	染华扁額	川村寶塔	量光寺	安 社
耳 护扔	及一元.	乘札取拂	王垣荒垣御普請	改方				0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	支配寺社 紀勢	同社等領高		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	吹上	目前宮境内
0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0			御願									0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
			0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0								0	6 0 0 0 0 0 0 0 0	0		0		
												0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0		
												0 0 0 0 0 0 0 0 0 0					
	スつハ	: 八〇七	: 八〇七	: 八〇七	:八〇七		: 八〇三	七七九	:七八二	: 七七九	:七七九	: 七七九	: 七七九	七七八	- +++	: 七七六	七七五

仙 壽 院 御廟圖	安 立 院	芝增上寺總繪圖 明信院殿御廟圖 俊岳院殿御廟圖	鑑	凌 雲 院 同	護 國 院 御廟圖 同全圖	真如院護國院凌雲院位置圖 當時真如院圖····································	原 如 院	江戶之部	社 寺 制 第 六	卷之百五十六	社寺領一般上地	諸社寺札守差上御斷 ········· ··· ··· ··· ··· ··· ··· ···	社寺御名代之制を定	江戶御寺方改革	諷經廢止	御菩提所一ヶ所に御定	
八七六	八七五	八七三	八六五	八六二	五一	八四九	八三三				バーニ	7 0	70	八〇九	八〇九	八〇九	

境江

妙

寺

御

胸位置

御 脚

13

八 原州身延山 護出 [i] īki 傳 [ii] 御 河 林 香 光川 秋 防 7149 述 通 天 光 葉 荷 御 院 形 社 院 寺 院 寺 寺 李 ALT. 寺 日彦 御 御墓碑圖 itili 九一山御助成記 圖

九一六

九一五

九一六

九二四

九二四

九二五

九一七

九二二

九一二

九〇六

九一三

八九七

三九

政大改革	學習舗へ親臨	維新後	素讀の書後藤點を一齋點に改む	水野多門學習館奉行拜命	經濟の書別段に會讀御日見以上出席の布達	學問所規則及布告數件	學門館を岡山濱武場へ移す	文武	當公公	昭德公	學問及景讀御試改正	題龍公	勸學之告論數條	素讀御試規則	學問御試規則	同館規則
五四四	Ji.		五二	Ji.	Ji.	四六	四六	[74]			= hd		三九	三七	二九	二七

騎

戦調

練

西洋流調練

騎

戰調

練

他

流

仕

附

和

同

同

場

燒

能役者

初

狮

K

ı i

三五九

三六六

三二八

学作美流軍學

卷之百六十三

橋爪流軍學

學制第六 武狮三

名取流軍學 名取家軍學傳へ書

名以流必傳書 新楠流與傳書

卷之百六十四

制第

[/4]

狮

马

術

三三五

四一〇

四〇五

四五

制六十五	風傳流鎗術 ····································	外山流鎗術 鎗薙刀拵方之書 同圖	生 縛 之 辨	口之	鎗術上下卷	教方之書	初學諸鎗	執鎗手段	明鑑假名鈔	稽古場壁書	大嶋流鎗術	馬 術
	五七八		ゴ. 五. 万. 八 三	Ji. fi. O	五. P.4		正九	五九	門八二	四八〇	四七八	四七七

宇治田岩	月錄	傳 授	礒	駒木根苔	秘炮	由	勝野流	緒言	炮	武術	學制第十	卷之百六十七	軍具同	傳 授	軍貝清水流	傳授
			野 駒木根より分流			緒				七						
七三〇	七二四	七二一	せこつ	七一八	七一三	七〇八	七〇六	七〇五					六九〇	六八九	六八七	六七八

天	和	城郭町園	卷之百六十八		7	¥4.	<u>ļļ</u> a	d		£-\$-	**	**	J-1-0	44		±:
守	歌	関	二十	炮	武	津	片	小	同	佐々	藤	新	當	林	合	吉
閣	山	誌第	八	術	衞	田	桐	野	目錄	木	岡		岡		藥秘	川
圖	城	777		秘	流	流	.流	流	八人	流	流	流	流	流	修傳書	流
				書	後長谷川	後南條	後平井		八十八ヶ條							
	:				•		:	:	:			:		:		
7 -	八〇三			北上	-ti Ti	-t: 3i.	七四九	七四八	七四二	七四一	七三九	七三八	七三七	七三七	生三	七三〇

地町町	江戶	城郭邸園誌第二	卷之百六十九	苑圖献	而苑賞景詩	西苑	赤坂庭園	赤坂町	竹橋町	江戶	殿瓜莊闌畢竟	歷世殿邸沿革	111 丸 城	松坂城	新宮城	田邊城
				早	紀の柴坊		内外苑	殿房官舍倉庫其他	寬永間圖							
九一七				九一四	八八六六	八八〇	八七二	八四九	八四四		八四三	八一七	八一七	八一四	八一三	八一三

麹町三丁目北横町	四谷仲町	四谷鮫ヶ橋	四谷相之馬場	牛込原町	青山權田原	四谷御門外御日	深川万年橋邸	深川邸	小名木澤邸	千駄ヶ谷邸	芝	濱 町 邸	築地町	芝海手邸	八町堀邸	避 谷 耶
横町										同御添地圖共						
	•		•	•	•	0		•	•			•	•	•	•	
九三八	九三八	九三八	九三八	九三六	九三五	九三五	九三匹	九三四	九三四	九二八	九二六	九二五	九二五	九二	九二二	九二一

岩出御殿	山口御殿	北島御殿	西濱御殿	濱 御 殿	博甫御屋敷	吹上御殿	御下屋敷	湊御隱殿	紀州	旧藩邸沿革一	維新後藩邸	享保二年御抱日	市ヶ谷本村	市ヶ谷川田窪	小石川新富坂	深川越中島
	上使の時の圖			御樂種畑也		甲乙圖				灣表		屋敷				
九五九	: 九五六	: 九五六	: 九五五	九五四	h.	九四九	九四四	Pu		九四二	九四一	九四〇	九四〇	九四〇	九三九	九三九

勢	苑	伏	堺	大	京	各	陽	岩	網	薗	廣	椒	溝	橋	陽	粉
州御	囿	見		坂	都	地	山御	出御	代村	御	御	御	の口	本	山	भूगो
鷹場		邸	邸	邸	邸		殿地	殿地	御殿	殿	殿	殿	御殿	御殿	御殿	御殿
נונייי		1241	5204	FH			及附	の圖	USA	DSX	USX.	USX	EX.	DSX	<i>53</i> 2	DSX.
					過共		近の	•				•		•	•	•
			0	•	•		圖	•	0 0			•		•	0 0	•
					:		:			•				•	•	0
			•		•		0 0		•		•	•	•			0 0
0 0 0					8		•			•			•			•
		•			•		0 0			*		•	•	•	•	0
			0 0		•		•	0 0	•	•			•	•	•	
0 0		•					•	•	•	•		•	•	•	•	0 0
		•		•	•					•			•	•	•	•
0 0			0 0				•	•	•		•	•	•		•	•
		•		•	***			•	•	9		•	•	•	•	
		•	0 6 0						0 0		•	*	0	•	•	•
		•	•	*	•		•		0 0		* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	•		•	•	
•		•	**					•	0 0			* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	0 0	0 0	•	•
•		•	e • •	:	:		:	•	•	*	•	0 0	•		•	•
九九つ		九九〇	九九〇	九八七	九七五		九七三	九七一	九七〇	九七〇	九七〇	九六九	九六七	九六四	九六二	九六一

新律綱領を奉行	刑法内則中代	順人夫を廢し場	刑法内則を假力	刑事布告	徒刑法	維新後	徒刑策建議	刑法細則	國律補助	有德公御定刑	刑法略言	刑法	卷之百七十	大宮御鷹場	小杉御鷹場	
行す 一二二	流徒刑幷徒刑年限を改定す 一二二〇	押込過料及盗賊等別の法を定む 一一九	定				1100	差扣申込 盗難一〇八四		法						



No. 365



即

刷

所

福

即

刷

所

和歌

山市

新 堀四

丁目三番

地

本 配 終 最

FII

刷

者

福

和

歌山市

新

堀四丁目三番

地

發

行

者

Ш

崎

和

昭昭 和 八 年 月 - | -Fi. H H 即 行刷

編 輯

者

堀

南紀德川史總 日餘

所 和 歌山 市宇須町三百七十八番 南 地

發

行

-

振替口座大阪四

内

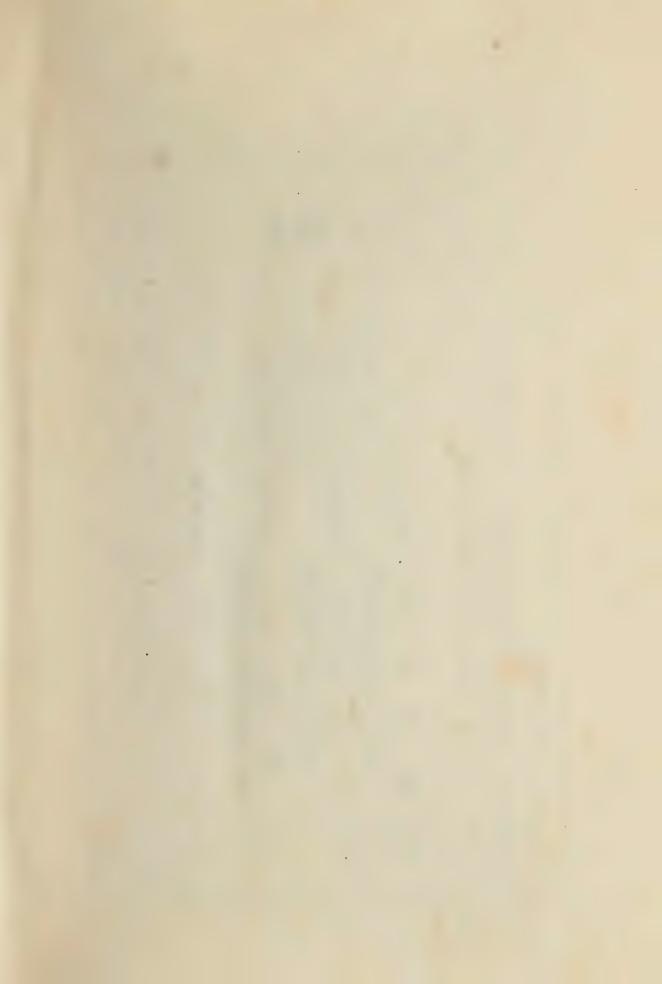
信

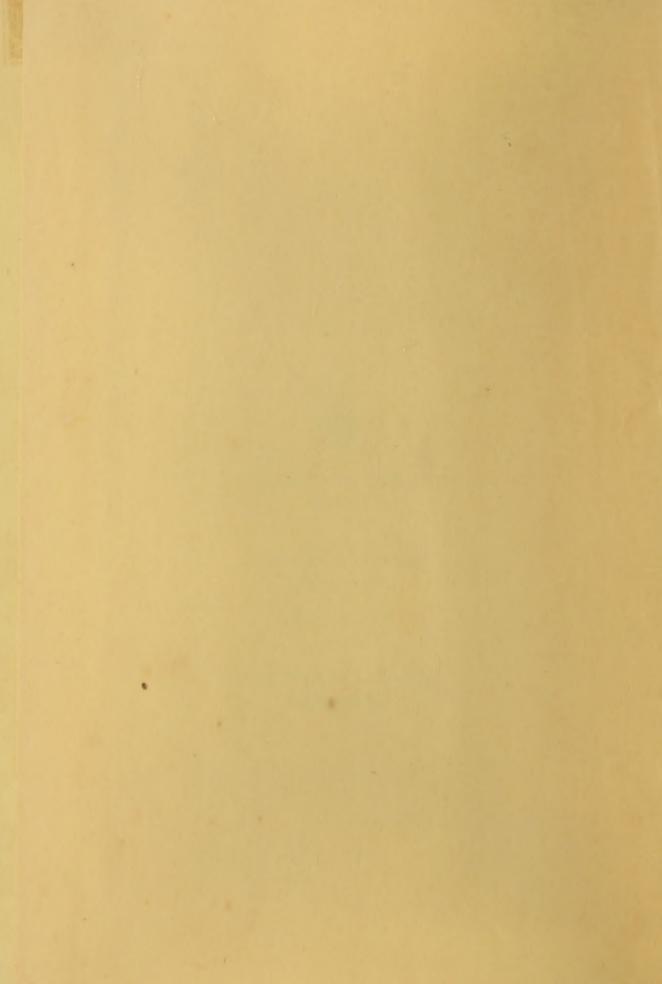
歌山市宇須町三百七十八番地

順

25

郎









UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

WILLIAM H. DONNER COLLECTION

purchased from a gift by

THE DONNER CANADIAN FOUNDATION